

ノ離籍ノ點ニ付テノ改正案ハ、御意見ノ通
リノ趣旨ダト思ヒマス、是ダケデハ足ラヌ
ト云フコトモ、御意見ノ通リダト思ヒマス、
早ク此ノ親族編、相續編ノ改正ヲ致シマシ
テ、十分其ノ要望ニ副ヒタイト考ヘテ居ル
次第デアリマス、折角努力中デアリマス
○古島委員 私ノ心配ヲ致シマスノハ、實
ハ人事調停ヲ致シマスノニ、人事調停ハ御
承知ノ通りニ、人情デ固メテ參ラナケレバ
ナラヌ事案ガ多イノデアリマス、所ガ御承
知ノ通り、アノ調停法ノ規定ニ依リマスト、
許可ナクシテモ、此ノ法律事務ヲ業トスル
人達ガ、具體的ニ申セバ辯護士デアリマス
ガ、辯護士ハ何等裁判所ノ許可ナクシテ當
事者ノ代理ガ出來ルコトニナツテ居ルノデ
アリマス、其ノ關係デト申シマスト辯護士
ノ方ニ洵ニ申譯ナイノデスガ、私ナドモ自
殺スルヤウナモノデアリマスカラ、其ノ關
係トハ申シマセヌガ、サウ云フ筋道ガ開イ
テ居ル爲メデアラウカト思フノデアリマス
ガ、初メカラ豫定ヲ致シマシテ、此ノ調停
ニハ斷ジテ應ジナイ、不成立ニ終ラセルト
云フ考ヘラ持ツテ居リマスト、調停委員ガ
如何ニロヲ酸クシテ申シマシテモ、容易ニ調
停ガ出來ナイ、ソレハ何デアルカト云フト、
最後ニハ法律的ニハ斯ウデハナイカト云フ
コトニナル、法律デ片ノ付クモノデアツテ、
ルニ法律デハサウナツテ居ルガ、道義ニ依ツテ
ソレヲ片付ケテ吳レナイカト云フノガ人事
調停ノ趣旨ニナツテ居ルノデアリマス、然
法律ニハサウナツテ居ルノダト言ハレ
テシマヒマスト、調停スル人ハ、法律家モ
混ツテ居ルガ、法律家デナイ人ガ多イノデ
アリマス、調停主任ノ判事ニオイデヲ願ヒ
マシテモ、法律ハ斯ウデアル、アナタハ

斯ウ仰シャヤルガ、若シ裁判所ニ訴ヘタナラバ私ノ方ガ勝ツコトニナル、斯ウ反駁サレルコトニナリマスカラ、係リノ判事サブヘナケレバ間ニ合ハナイヤウニナル、今回ノ離籍問題等モ相當調停ニハ出テ参リマスガ、離籍ノ問題デ、戦死者ノ遺族デアル戦死ナスツタ方ノ奥サン方ガ、救ハレルカト云フト、是ハ救ハレナイト思フノデアリマス、何故救ハレナイカト云フト、成程此ノ點ニ付テ離籍ハ濫リニ出来ナイト云フトニハ幸ヒ改正ニナルノデアリマスガ、本人ハ離籍ヲサレヌト云フコトニナツテモ、戦死者ト本人トノ間ノ子供ニ相續權ガナイ場合ガ多イノデアリマス、私が申上ゲルマデモナク、戦地ニ参ル方々ハ若イ方々デアリマシテ、マダ奥サンヲ娶ツタバカリノ人々デアリマス、ソコデ子供ノアル方モアルシ、又ハ妊娠中ニ出征シテ戦死サレルト云フ方ガアルノデアリマス、斯ウ云フ場合ニ於テハ其ノ胎兒ガ中々相續出來ヌノデアリマス、民法ノ規定ニ依レバ、當然相續ニ付テハ胎兒ト雖モ出生ト看做スト云フノデアリマスカラ出来ル筈デアリマスガ、私が申上ゲヌデモ民事局長御承知ノ通り、大審院デ妙ナ判決ヲ出シマシタ、妙ト言フト變デスガ、實際ハアレガ正當デアリマセウ、胎兒ハ原則トシテ代承相續權ガナイト云フコトヲ判例トセラレタ、サウスルト自分ノ御亭主ハ戦地ニ參ツテ戦死ヲナサレル、丁度戦死ヲナサツタ云フ通知ヲ受ケタ時ニハマダ妊娠中デアルガ、遺骨ノ着イタ時ハ出生論シテ居ルノデアリマス、併シ其ノ子供

ニ代承相續權ガナイト云フコトニナリマス
ト、奥サンハ他人ノ家ニ唯ボンヤリシテ居
ルト云フコトニナリマスノデ、是ハドウシ
テモ此ノ離籍ノ問題ヲ制限スルヤウナ考ヘ
ガアルナラバ、其ノ奥サントノ間ニ正當ニ
出来タ子供モ何トカ救フト云フ方法ヲ講ジ
ナケレバ、全ク詰ラナイ改正ニナリハシマ
イカ、無論ヤラナイヨリハ宜ノデアリマス
スガ、此ノ奥サンノ身自體ヲ守ルヨリハ、
自分ト御亭主トノ間ニ生レタ而モ名譽ノ戰
死ヲナサツタ方トノ間ニ生レタ子供ニ、相
續權ガナイト云フコトニナルト洵ニ苦シイ
立場ニナル、離籍サレルヨリハモット苦シ
ミヲ増スコトニナルデアラウト思ヒマスガ、
此ノ點ハ如何デアリマセウカ、僅カノ條文
ノ改正ニ依ツテ救濟ガ出來ルノデアリマス
カラ、今日カラデモ遲クナイト思ヒマスノ
デ、ソレヲ追加スルヤウナ考ヘハアリマセ
カ

ス、大審院ノ判例ハ下級裁判所ヲ拘束スル
ノデアリマスカラ如何トモ致シ方ガナイ、
私モ承知致シテ居リマスガ、曾テ司法省ハ
大正十三年ノ六月十六日デアリマスカ、奈良
ノ地方裁判所長カラ問合セガアリマシテ、
民事第五千二百六十二號デ民事局長ノ通牒
ガアリマシタ、此ノ通牒ノ通りニ、胎児ト
云フモノハ相續ニ付テハ出生ト看做スノデ
アルト云フコトガ原則トシテ決マツテ居ル
以上ハ、胎兒ハ相續ニ付テハ、トアルノデア
ルカラ、相續ハ一般相續デアラウガ、代承
相續デアラウガ、相續ト云フ中ニ包含セラ
レルト云フノデアル、然ラバ是モ代承相續
ヲスルノガ當然デアルト云フ解釋ヲ其ノ儘
維持シテ吳レバ宜カツタノデアリマス、
所ガ遺憾ナガラ、其ノ後ニ判例ガ出タカラ
デアリマセウガ、昭和十二年ノ三月一日ニ
ナリマスト、ヤハリ民事局長ノ回等ガアリ
マス、此ノ民事局長ノ回答ニ依リマスト「民
法第九百七十四條ニ所謂家督相續人ノ直系
卑屬中ニハ相續人ガ死亡又ハ相續權ヲ失ヒ
タル當時胎兒タリシ者ハ之ヲ包含セザルモノ
ト思考致シ候、此段及回答候也」斯ウ云フ
回答ニナツテ居リマス、胎兒ト云フモノハ
相續權アリ、相續ニ付テハ出生シタモノト
同様デアルト云フノデアルカラ、其ノ相續
ト云フコトガ代承相續デアラウガ、一般相
續デアラウガ、是ハ含ムモノデアルト云フ
ナラバ、理論一貫スルノデアル、所ガ代承
ノ場合ニ於テハ胎兒ハ包含セザルモノトス
ルト云フコトヲ民事局長ノ方カラ回答致シ
タ結果、全國ノ戸籍吏ガ困ツテシマツタ、
從來ハ相續權ガアツタ、今度ハ相續權ナシ
トサレタモノデアルカラ、困ツテシマツタ
ノデアリマス、此ノ點ハ大審院ガサウ云フ

ヤウナ判決ヲ致シマシタノデ、大審院ノ
決ハ申上ゲルマデモナク、アレハ養子ノ除
籍問題デアル、養子ヲ除籍シテ、其ノ人ノ
子ガマダ妊娠中デアル、其ノ時ニハ相續權
ノナイト云フヤウニスル方ガ便利ナノデア
リマス、親父ハ相續權がナイガ、胎ノ中ノ
子供ハ相續權ガアルト云フコトニナレバ、
是ハ廢除致シマシテモ、離縁致シマシテモ、
何等ノ效果ヲ生ジナイ、今度此ノ事變デ起
ツテ參リマシタ戰死ト云フノハ、ソレトハ
全ク譯ガ違フノデアリマスカラ、所謂被代
承者ノ方ニ何等ノ過失モナシ、又被相續人
ノ方カラ見レバ却テ愛スペキ伴ノ子供デア
ル、孫デアル其ノ子ニ相續權ガアル、斯ウ
ナルト、同ジモノデハアルガ、民事局ガ此
ノ間マデ考ヘテ居ツタ通リニ言ヘバ、今日
ノ時局ニ適合スルノデアリマス、大審院ノ
判決ノヤウニ言ヘバ、此ノ時局ニハ洵ニ懸
レナ人間ガ出テ參ルノデアリマス、是ヘド
ウシテモ民事局長カラ改メテ通牒ヲ出スカ、
法律ニ其ノ點ヲ明確ニ書クカシナケレバ、
救濟出來ヌト私ハ思フノデアリマスガ、實
例モ相當アリマスガ、其ノ細カイコトハ申
上ゲヌデモ、民事局長ガ、私ハ斯ウスル積
リダト仰セニナレバ、其ノ儘デ済ムト思フ
ノデアリマスガ、如何デアリマセウカ
○坂野政府委員 非常ニ御尤モナ御意見デ
ゴザイマシテ、私モ代襲相續ハアルノデハ
ナイカト考ヘテ居ル次第デアリマス、唯大
審院ガ判例ヲ出シマスト、ソレト民事局長
ノ回答トガ食達ツテ居ルト云フコトハ、是
ハ實際ニ非常ニ困ル、斯ウ云フ所カラ其ノ
回答ヲ改メタモノト考ヘテ居リマスガ、御
意見ノヤウナ色々ナ缺陷モ相當出來マスノ
デ、是ハ能ク考慮シテ善處シタイト考ヘテ

○古島委員 御答へノ通りアリマス、實際ハ民事局長ノ力ヲ以テシマシテモ、是ハ如何トモ方法ガアリマセヌ、大審院ガサウ云フヤウナ判決ヲシタ以上ハ、マサカ大審院ニ向ツテ判決ヲ直セト云フ譯ニモ參リマセヌカラソコデ司法省ノ力デ出來ルノハ、民法ノ第九百七十四條ニ、僅カニ一項ヲ加ヘレバ極ク簡單ニ出來ルノデアルマイカトマス、最モヒドイ例ノアリマスノハ、群馬縣勢多郡ノ荒砥村ト云フ所デアリマス、此處ハ九名戰死ヲナサツタ中デ、三名ガ代承相續ニナツテ居リマス、所ガ此ノ三名トモ遺憾ナガラ胎兒デ居ツタ關係上、是ガ出來マセヌ、中ニハ斯ウ云フ席デ申上ゲルコトハ、實際カラ言フト餘リ面白イ例デハアリマセヌガ、自分ノ伴サンハ立派ナ嫁サンヲ貰ツテ、其ノ嫁サンガ妊娠中ニ其ノ伴ガ戰死ヲ致シタト云ブノデハアルガ、其ノ被相續人ガ女中トノ間ニ子供ガ出來テ居ツタ、サウスルト自分ノ正系デアル孫ハ相續權ガナクテ、女中トノ間ニ出來タ其ノ庶子ガ相續ヲシテシマフ、是ハ實ニドウモ日本ノ淳風美俗ヲ害スルコト甚ダシイモノダト思フノデアリマス、立派ナ孫ガアツテ、其ノ孫ハ相續權ガナイ、而モ遺骨ガ着イテ村葬ヲスル時ハ、モウ其ノ子ハ生レテ居ルノデアリマス、所ガ不幸ニシテ其ノ被相續人ノ方ニ女中トノ間ニ子供ガ出來テ居ツタガ爲ニ、其ノ子供ヲ認知シテ庶子ニシテ居ツタ、其ノ庶子ニ相續權ガアル、斯ウナリマスト、法律ト云フモノハ實ニドウモ厄介ナモノダ

ト云フノデ、國民ハ今日ノ時代ニ此ノ事實ナ見タダケデ、非常ニ士氣ヲ沮喪スルノデアリマス、コンナ事實ガアツタリシマスト、ヤハリ司法省ノ手デ以テ如何トモ致シ方ガナイ、大審院ノ判決ヲ動カス譯ニ參ラヌ、斯ウナツテ居リマスガ、ソレハ其ノ通リデアルケレドモ、大審院ノ判決ヲ動カサズニ、此ノ第九百七十四條ニ若シ斯ウ云フ一項ヲ入レテ吳レラレタナラバ、ドウデアラウカト私ハ考ヘタノデアリマス、是ハ被相續人ガ戶主デアツテ、サウシテ其ノ親父サンガアリ、其ノ孫ガ相續スル、所謂代承相續デアリマス、斯ウ云フ規定ノアトニ持ツテ參リマシテ、前項ノ規定ハ被相續人ノ意思ニ基キ家督相續人ガ相續權ヲ喪失シタル場合ニハ被相續人ノ直系卑屬ニアラザル者及び胎兒ニハ適用セズ、斯ウ云フ條項ヲ入レタナラバ、サウ云フ場合ハ一切救濟ガ出來ルノデハナイカ、其ノ條項位ナコトハ、此ノ離籍ノ問題ト同ジニ、僅カニ一項ヲ入レバ出來ルコトデアル、是ハ急場ノ問題デアリマス、親族法、相續法ニ付テ、民法ノ根本的改正ヲ今練ツテ居ルト云フコトデアリマスガ、ソレノ出來上ガルマデノ間ノ急場ノ間に合ハセニモ、サウ云フ風ナ一項ヲ之ニ加へテ、救濟スルト云フダケノ執意ヲ以テオイデニナリマスマイカドウカ、ソレヲ承ツテ置キタルケ考ヘテ見マセヌト、何トモ御返事出來

ナインデアリマスガ、御意見ノ趣旨ハ吾々
十分考慮シナケレバナラヌト云フコトヲ申
上ゲマス、今後モ此ノ點ニ付テ能ク検討致
シマシテ、若シ民法ノ全面的改正ガモソト
遅レルヤウデアリマシテ、之ニ付テ是非必
要デアルト云フコトデアレバ、最近ノ機會
ニ於テ或ハ改正手續ヲ執ルヤウニナルカモ
知レナイト思ヒマス、ソレデ御諒承ヲ願ヒ
マス

○古島委員 僅カ九名戦死ナサツタ中デ三
名アルト云フ實例サヘアルノデアリマスカ
ラ、恐ラクハ十万ノ戰死者ガアルト云フコ
トニナレバ數千人ハ是ト同ジヤウナ問題ニ
遭遇シテ居ルト思フノデアリマス、若シサ
ウスレバモウ民法ノ改正ノ出來上ツタ時ニ
ハ既ニ遅シ、如何トモ方法ガナイト云フコ
トニナリマス、ソコデ離籍ノ問題自身モ濫
リニ離籍ヲスルカラト云フノデ突如トシテ
斯ウ云フヤウナ改正案ガ出テ參ツタノデハ
ナイ、此ノ事變中ニサウ云フコトガアツテ
ハ一大事ダト云フコトノ事變關係ノ改正ダ
ト私ハ心得テ居ルノデアリマス、若シ事變
關係デ奥サンガ離籍スルト云フコトガ如何
ニモ不都合ダト云フノデ是ダケノ思召ガア
ルノナラバ、實際親父ガ生キテ居ルナラバ相
續權ハアルノデアル、名譽ノ戰死ヲシタガ
爲ニ相續權ガナクナルト云フヤウナコトコ
ソ、救濟シテヤラナケレバナラヌノデアル
カラ、遅レルヤウナラ次ノ議會ニ出スト方
云フヤウナ考ヘデナク、此ノ際マダ議會召
集中ナノデアリマスカラ、此ノ場合ニヤツ
タラドウデアルカ、其ノコトハ必要ガナイ
或ハ又他ニ救濟ノ方法ガアルカラト仰セニ
ナレバ安心ガ出來マスガ、實際是ハ世間ニ
多イコトダト思フ、サウシテ其ノ内ニ考へ

○坂野政府委員　是ハ要スルニ前ニモ申上
ガマシタ通り、解釋ノ餘地ノアル規定ナノ
デアリマス、吾々モ十分色々ナコトト比較
考慮致シテ決定致シタイ、ドウゾソレデ御
諒承願ヒタト思ヒマス

○古島委員　誇イヤウデアリマスガ、ドウ
モ解釋々々ト言ハレテモ、私モ解釋ハ民事
局長ト同ジデス、司法省ガ今マデ出シテ居
ラレタモノハ正當ダト云フコトヲ前提トシ
テ言ツテ居ルノテス、解釋デ行クモノナラバ、
裁判所ハ拘束出來ルガ、兎ニ角大審院ノ判
決ニ別ナモノガ出て居リマスカラ、アレガ
相續ノ問題デハナイ、廢除カラ來テモヤハ
リ九百七十四條ニハ胎兒ハ包含シナイ趣旨
ナリト云フコトノ判決デアリマスカラ、何ト
シテモ戸籍吏ハソレニ括ラレテ、其ノ儘フ
デアルシ、局長ハ之ニ向ツテ其ノ通りダト云
フコトノ回答ヲシテ居ラレマスガ、下級裁
判所ハ其ノ大審院ノ判例ニ括ラレテ、其ノ儘フ
判決ヲ致シマスカラ、解釋デサウナルノ
ダト言ツテオ終ヒニハ出來ナイコトデアル、

是ハ面目等ニ囚ハレズ、此ノ際ヤラナケレバ大變ナコトガ起ルト私ハ思フ、是ダケデナク、ヤハリ戸主ノ直系卑屬デナイ者ニハ相續權ガナイコトニナリマスカラ、其ノ點モ隨分問題ガ起リマス、中ニハ斯ウ云フノガアリマス、入夫婚姻ヲ致シマシテ、入夫婚姻ヲ致ス前ニ其ノ人トノ關係デ入夫ガ子供ヲ持ツテ居タ、數年經ツテカラ入夫婚姻ヲスル時ニ籍ヲ入レテ置イタ、サウスルト子供ガ出來、其ノ子供ノ方ニ今度ハ子供ガ出來タ、サウスルト入夫婚姻後ニ片方ノ連レ子デナク夫婦間ニ子供ガ出來タ、其ノ子供ガ今度ハ子供ヲ産ンダ、詰リ孫デアリマス、是ガ當然相續權ノアルベキ筋デアリマスガ、ソレガ不幸ニシテ胎兒デ居タ關係デ、入夫婚姻ノ際ニ連レテ參ツタ子供ノ方カラ、謂ハバ餘計者扱ヒヲ受ケテ居ツタガ、本當ノ伴サンガ戰死ヲスルト、其ノ人ノ子ウ云フモノデスカト云フコトヲ皆言ツテ居リマス、其ノ家ニ入レバ入夫ノ連レ子デス供ガ相續セズニ、アベコベニ餘計者ニシテ居タ者ガ相續ヲスルト云フヤウナコトニナツテシマフ、斯ウナルト一大事デアリマス、サウナルト其ノ土地ニ於テ却テ裁判所トカ役場ヲ怨ムコトニナリマス、變ナ例デスガ、私ノ知ツテ居ル例ハ、他人ノ所ニ奉公ニ出テ居テ、其ノ奉公ニ行ツテ居ル者デナケレバ相續ガ出來ナイト云フノデ、結局其ノ人ガ相續スルコトニナリマシタガ、其ノ家デ直系ト見テ居ツタ方ハ、是ガ除ケ者ニナツタノダカラ、法律ニサウナツテ居ルコトヲデ居ル、今マデ人ノ所ニ出シテ居タカラ、其ノ人ニ最貞ヲシテヤツタノダラウト誤解

シテ、家庭争議ガ起ツテ居ル、ダカラ戸主ノ直系卑屬デナクテモ胎兒ヲ救フナリ、或ハ又被代承者ノ死亡シタ其ノ人ノ直系卑屬デアレバ、戸主ノ直系卑屬デナクテモ宜イト云フコトニスルニハ、私先程申シタヤウナ被相續人ノ意思ニ依ツテ所謂廢除シタ時ハサウナリマスネ、廢除シタ場合若シクハ養子縁組ヲ離縁シタ場合、此ノ意思ニ基イテ代承相續ヲ惹キ起シタ時ニハ、是ハ其ノ子供ト雖モ、胎兒ト雖モ相續權ガアル、サウ云フ場合ニハ適用シナイ、意思ニ基イタ時ハ適用シナイト云フコトニナリマスレバ、其ノ反面ニハ戰死シタヤウナ被相續人ノ意思ニ基クノデナイト云フヤウナコトニナレバ、其ノ子供トモ矛盾致シマセヌ、ソコデ旨大審院ノ判決トモ矛盾致シマセヌ、民事局長ノ御通牒トモ矛盾致シマセヌ、ソコデ旨イコトニハ離縁ヲ致ス、或ハ養子ナリ、實子ナリフ廢嫡ヲスル、廢嫡ヲシタ場合等ニハ是ハ意思ニ基クノデナイカラ、是ハ相續權行クト云フコトニシテ宜イ、戰死シタ場合ニハ意思ニ基クノデナイカラ、其ノ子供マデガアルト云フコトニナレバ、今ノ人情ニモ適應シテ宜イ、戰時議會、戰時議會ト言ヒマシテモ、相當マダ期間ガアルノデアリマスカラ、一、二日ノ間ニ之ヲ練ツテ救濟スイ文案モ出テ參リマセヌガ、民事局長アタリガ御調べ下サレバ、直チニ出來ルコトト思ヒマスカラ、何トカ救濟ノ途ヲ講ジテ戴キタイ

他ノ點ニモ色々アリマス、ソレデハ今度ノ
離籍トソレ等トドウ云フ比較ニナルノカ、
斯ウ云フコトニナリマスト、是ハ古島サン
ト見解ノ相違ト云フコトニ、或ハナルカモ
知レナイノデゴザイマスガ、離籍ノ點ガ喫
緊ノ必要事デアルト云フヤウニ考ヘタノデ
ゴザイマシテ、代襲相續ノ點ヲ不必要ナリ
トハ全然考ヘテ居ラナイノデゴザイマスガ
今ノ所離籍ノ方ガヨリ必要デハナイカト云
フ趣旨ニ於テ、提案致シタ譯デゴザイマス、
御越旨ノアル所ハ能ク考慮シテ置キマス
○古島委員 御答辯能ク分リマシタ、兎ニ
角分別シテ出シテ戴キタイト云フコトダケ
ヲ申上げテ置キマス、尙ホ一ツ非訟事件ノ方
デ承ハリタイノデアリマス、此ノ改正ノ趣旨
ハ離籍ダケデアリマスガ、非訴事件ニ於キマ
シテ後見人ノ選任ノ方法ガ書イテアリマス、
此ノ後見人選任ノ方法ニ、今マデハ何等ノ
制限ガ設ケテナインデアル、例ヘバ僅カニ、
斯クノ物ヲ附ケテ出セト云フコトガ書
イテアルノミデ、是ダケデハ殆ド滅茶苦茶
デアル、戸籍法ノ百九條ニ「後見開始ノ届出
ハ後見人其就職ノ日ヨリ十日内ニ之ヲ爲ス
コトヲ要ス、届書ニハ左ノ事項ヲ記載スル
コトヲ要ス」是ダケデアリマスガ、其ノ左ノ
事項ノ中ニ、親族會ニ依ツテ選定ヲ致シタ
後見人等ハ、親族會ノ招集決定書ヲ添付シ
テ届出セト云フコトヲ書カネバナラヌト
思フノデアリマス、親族會ノ招集決定書ガ
附イテ居リマセヌ結果ハ、是ハ東京ニモ例
ガアリマシタガ、地方ニモ隨分其ノ例ガ
アリマス、奸智ニ長ケタ者ハ、此ノ親族會
ノ招集申請ヲ裁判所ニ致サヌノデアリマス、
是ハ隨分亂暴ナ者ガ居リマシテ、招集申請
ヲ致サズニ置イテ、親族會ノ決議ヲ作製シ

テ役場ニ届出シテシマフ、サウスルト役場ノ方デハ其ノ知識ガナイ人ガ多イカラ、其ノ儘受付ケテシマフ、サウスルト後見人ハ就任シタト云フコトニナルカラ、更ニ之ヲ何トカシテ廢除シヨウトシテモ廢除ノ方法ガアリマセヌ、ソレハ區裁判所ニ向ツテ親族會招集申請ヲスル、申請スルノハ何ノ爲ニ申請スルカト云フト、後見人選任ノ爲ト云フコトニナル、所ガソレニハ戸籍ノ謄本ヲ添付スル必要ガアルカラ、戸籍ノ謄本ヲ持ツテ參ルノデアリマス、其ノ戸籍謄本ノ上ニハ何某ハ何月何日後見人就任ノ届出ナンシタリト書イテアル、其ノ後見人ノ届出ガアルカラヤル譯ニハイカヌト言フ、ソコデ今度ハ其ノ後見人ノ無效確認ヲ出シマス、併シ此ノ無效確認ハ容易ニナラヌノデアリマス、何故ナラヌカト云フト、後見人ガアルノカ、ナイノカト云フコトハ事實關係デアル、詰リ法律關係ハ確認ガ出来ルノデアルガ、事實關係ハ訴訟法上確認出來ナイ、ソコデ後見人タル關係ハ、被後見人タル關係ノ存在セザルコトヲ確認シロト云フコトノ確認ヲ致セマスガ、是ハ戸籍吏ノ受付ケル限リデハナイデアリマス、詰リ後見人ノ就任ノ届出ヲ抹殺スル力ハナイノデアル、是ハ結局親族會ノ招集決定書ヲ添附サセナイカラデ、ドウシテモ其ノ後見人ヲ廢除スルコトハ出來ヌコトニナル、又是ハ東京デ別ナモノヲ擁ヘテ區役所ニ届出ル、區役所タ、サウンテ其ノ番號ハ分ツテ居ルガ、其ノ後見人ヲ選定スル親族會ガ違ツテ居ル、マスガ、ドウシテモ廢除スルコトガ出來ヌト云フノガアリマス、中ニハ親族會ハ其ノ

〔備考〕申請シ、親族會員ハ其ノ場所ニ於テ親族會ヲ開會スルガ、其ノ開會スル先ニ別ノ所デ拵ヘテ、其處デ集會シタト稱シテ別ノ親族會員ガ別ノモノニ届出シタ、斯ウ云フヤウナ到底救濟ノ出來ナイヤウナコトガ起ルト云フコトハ、此ノ戸籍法ノ、サウ云フ場合ニハ、後見人ノ届出ニハ、親族會ノ招集決定謄本ヲ添付シロト云フコトヲ之ニ挿入スルナラバ、サウ云フコトハ起ラヌデ濟ムト思フノデアリマスガ、其ノ記載ノ方法カ何カ御考ヘガアリマセウカ、之ヲ御尋ネシテ置キタイト思ヒマス

○坂野政府委員 非常ニ良い御意見ヲ知ラシテ戴キマシタ、非常ニ結構ナコトデアルト思ヒマスカラ、立法上ノ重要ナル事項トシテ參酌シテ、今後ノ資料ニ資シタイト思ヒマス

○古島委員 ドウモ私ガ頭ガ惡クテ分ラヌノデスカ、司法省ノ方々デモ何處ノ方々デモ、此處デヤツチ居ル時ハ役目ノ積リデ、コンナウルサイ質問ダガ、此ノ場ガ濟ンデシマヘバト云フ考デ御答辯願ツテハ困ル、又吾々ハ實際問題ニ觸レテ、實際世ノ中ニ斯ウ云フコトガアルノダカラ、之ヲ救濟スルノガ今日ノ時代デハアルマイカト思ツテ居ルノデアリマス、唯議員ナルガ故ニ故ラニ言ハヌデモ宜イヤカマシイコトヲ言フノデハアリマセヌ、私ハ決シテ言フ好ンデ申上ゲルノデハナク、實際問題トシテ申上ゲルノデアリマス、所ガ今マデノ幾度カノ御約束デモ、各省ノ御方ガ議會申ハ、何トカ考慮致シマセウトカ、救濟ノ方法ヲ考ヘテ見マセウト仰セ下サルガ、次ノ議會マデニ斯クノコトヲ考ヘ出シタト云フコトヲ、言ツテ吳レル方ハ一人モナインデアリ

マス、是ハ今日ノ時代ニ於テ議員トシテモ
大イニ革新シナケレバナラヌ所ガアリマセ
ウガ、政府委員ノ方々モ大イニ革新シナケ
レバナラヌコトデアルト思フ、今日御答ヘ
ニナツタ民事局長ガ、マサカ同ジナヤウ
トダグトハ申上ゲマセヌ、民事局長ニ限ツテ
ハ熱心ニヤツテ下サルコトトハ存ジマスガ、
本當ニ通リ一一遍ノ、ヨコヲ濟マシテシマヘ
バ構ハヌト云フナヤウコトデナク、熱心ニ
御研究ノ上實施シテ戴キタイト思ヒマス
○坂野政府委員 只今御尋ネノ點、一部分
戸籍法第五十八條ノ規定デ救ヘル所モアル
ノデハナカト思ヒマスノデ、一寸御参考
マデニ申上ゲマス

○庄司委員 前會司法大臣ノ御臨席ガアリ
マセヌデシタノデ、保留シテ置イタ一、二ノ
質問ガゴザイマスガ、其ノ一部ハ、昨日ノ
本會議ニ於テ極メテ簡単デハアリマシタガ、
御答辯ヲ煩ハシテ居リマス、仍て繰返シテ
長イ時間ヲ費シテ他ノ方ノ御質問ノ時間ヲ
割クコトヲ憂ヒマスノデ、其ノ點ハ差控ヘ
タイト思ヒマスガ、大臣ニ直接御答ヘヲ煩
カラ、其ノ點ハ宜シウゴザイマス、只今戰
時體制下ニ於テ特ニ私ハ一方本院ニ建議案
ヲ出シテ居リマス、其ノ建議案ハ本員が今
回初メテ提出シタノデハナク、司法保護事
業法通過ノ際、同法案ノ特別委員トシテ政
府ニ迫マリ、ソレ以來ズット提出シテ居ル
ノデアリマスガ、此ノ戰時體制下ニ於テ陸
海軍ノ軍需工場等々ニ過去ニ於テ過チヲ犯
シタ所謂刑餘者、前科者ガ働く場合ニ門鑑
ト云フモノガ必要デアル、其ノ門鑑ハ身許

證明書ヲ提出シテ、過去ニ於テ彼ニハ前科
陸海軍ノ軍需工場ニ於テハ與ヘナイノデ
アリマス、隨ヒマシテ職業紹介所——今ハ
國民職業指導所ト改稱サレテ居リマスガ、
陸海軍ノ御要請ニ依ツテ筋肉労働者ヲ募集
致シマシテ陸海軍ニ差上ゲマシテモ、軍需
工場等ニ於テハ前科者ハ結局採用サレナイ
ト云フコトニナル、詰リ彼ノ前科ガ禍ヒヲ
ナシテ働くコトガ出來ナイト云フ現實ノ狀
態デアリマス、ソレハ其ノ都度建議案ノ
職業紹介所長ノ公職ニアリマシタモノデズ
カラ、此ノ間ノ事情ニ付テハ幾多ノ實例ヲ
知ツテ居リマス、ソレハ其ノ都度建議案ノ
形式ニ於テ、或ハ司法保護事業ノ特別委員
トシテ司法省ニハ申上ゲテ居ツタノデアリ
マスルカラ、一々ノ實例ヲ申上ゲルコトハ
差控ヘマスケレドモ、左様ナ狀態ニナツテ
居リマス、一度過チヲ犯シ、刑ヲ受ケテ釋
放サレタル者、刑法上ノ實刑ヲ受ケタ者ダ
ケデハアリマセヌ、罰金刑ノ者デアリマシ
テモ、ヤハリ前科トシテ取扱ヒヲ受ケテ民
ル、雀ヲ捕ル爲ノ狩獵法違反トカ、魚ヲ獲
ル爲ノ漁業法違反トカ云フ刑法犯以外ノ各
種ノ法定犯ノ違反者デアツテモ、サウ云フ
モノガ前科トシテ居リマス、戰時體
制下ニ於テ國民ガ一億一心トナツテ、正シ
イ人ハ無論ノコト、過去ニ於テ過チヲ犯シ
タ者デアリマシテモ、立派ナ精神ニ立返ツ
テ御國ノ爲ニ御奉公シタイト云フ場合ニ於
テ、オ前ノ過去ニハ罪惡ノ記録ガアル故ニ
軍需工場ニ使フ譯ニイカヌ、門鑑ヲ與ヘラ
レナイ、斯ウ云フコトデアツテハ司法省ヲ
初メ司法保護院、地方ニ於テハ町村長或ハ
警察署長等ガ如何ニ改過遷善ニ努メテマシ

テモ、一方ニ於テ政府自ラガ彼ヲ虐待シテ自暴自棄ヲ起サセ、世ノ中ヲ白眼視シ、冷眼視スルヤウナ狀態ニ陥ラシムルコトハ是ハ想像ニ難クナイ、其ノ爲ニ或ハ一犯トナリ三犯トナリ、累犯ヲ重ネテ、最初ハ極ク簡単ナ犯罪者デアツクモノガ遂ニハ常習的ナ惡漢無賴ノ徒ニ陥ル虞モアリマス、私ハサウ云フ意味ニ於テ昨日モ質問申上ゲタノデアリマスガ、十五分シカ質問ノ時間ヲ與ヘラレテ居リマセヌ爲ニ、十分意ヲ盡スコトガ出來マセヌデシタケレドモ、此ノ度司法關係ニ於テハ司法保護課ヲ保護局ニ昇格シ、十六年度ノ豫算ニ於テハ司法保護獎勵費トシテ約五十七万圓ガ計上ヲサレタヤウデアリマシテ、洵ニ結構ナコトデアルト思フ、御承知ノ通リ總動員法ノ第一條ハ此ノ戰時下ニ於テ人的及ビ物的ノ凡ユル國家ノ資源ヲ總動員シテ、國難ヲ突破シナケレバナラスト云フ意味ニ於テ立案セラレテ居ルト、私ハ考ヘテ居リマスガ、ソコデ昨日私ガ本會議ニ於テ御質問申上ゲタコトハ、結論ハ前科抹消ニ關スル單行法律或ハ勅令等ニ依ツテ——私ノ推定デハ現在全國約二百六七十万ノ前科者ガアリマス、其ノ中再犯、累犯ヲ重ネテ二度三度刑務所ニ繋ガレテ居ル改過遷善ノ可能アリマス、差當リ單行法或ハ勅令等ノ御制定ニ依ツテ、其ノ前科ヲ直チニ抹消出來マジ更生シテ居ル人々ガ、恐ラク其ノ過半數ヲ占メテ居ルモノデアルト私ハ思フノデ内務省關係、地方ノ警察ハ町村役場ト御相談サレマテシ、マダ／＼働く體力ヲ持チ、誰ガ見テモ立流ナ善人ニ立返ツテ居ルセヌデモ、司法省ニ於カレテハ檢事局或ハ云フヤウナ場合ニ於テ、身元證明書ニ前科ノアル證明書ヲ警察或ハ役場等ヨリ貰ツク場合ニ於テハ、就職モ渡航モ不可能ナル現在ノ状態ニナツテ居リマス、ソコデ何カ便宜ノ方法ヲ以テ前科ナシト云フ證明書ヲ——是ハ全部ト云フ譯デハナイ、或ル一定年限ヲ経過シ、誰ガ見テモ適格者デアルト云フ者ヲ選抜シテ、サウ云フ者ヲ救濟スル方法ハナイデアリマセウカ、司法省ハ内務省關係トモ能ク御相談ヲナサレタナラバ、何等力便宜ノ救濟方法モアリ得ルモノト私ハ考ヘテ居リマス、一體世界ノ文明國トシテ皇道

精神ヲ誇ツテ居ル國ガ、過去ニ於テ失敗アルガ故ニ二十年經ツテモ三十年經ツテモ、オ前ノ過去ニハ斯ウ云フ罪惡ガアツタカラト云ツテ、罪惡ノ證明書ヲ與ヘント云フコトハ、皇道精神カラ言ツテモドウカト思フノデアリマス、皇道精神ノ上カラ言フナラバ、罪ハ勿論罰シテ懲役ニモ入レ、罰金ニモ處スルトシテモ、ソレヲ受刑シテ、所謂年貢ヲ納メテ出テ來タ場合ニ於テハ、法律上カラ言フナラバ春ノ雪ガ消エタガ如ク、彼ノ犯罪ハ法律的ニ消エテ居ル、然ルニ其ノ後何十年經ツテモ彼ヲ前科者扱ヒヲスルト云フノデハ、幾ラオ前ハ立派ナ人間ニナレ、改過遷善、更生ノ生活ニ入レト言ツテモ、一方ニ於テ差別待遇ヲスル、私ハ町長ヲヤツテ居リマスガ、前科者ハ陪審員ニモシナイ、或ハ借地借家ノ委員ニモシナイ、臨時調停法ノ委員ニモシナイ、サウ云フヤウニ總テ缺格條件ヲ以テ扱ツテ、唯立派ニダケナレト云フコトデハ、皇道精神ノ上カラ言ツテドウ云フモノデアラウカ、私ハ實ニ残念ニ思ツテ居リマス、故ニ何等力便宜措置ヲ採ラレマシテ、特ニ戰時體制下一億一心デナケレバナラス時ニ於テハ、假令刑餘者デアリマシテモ軍需工場等ニ於テ働キ得ルヤウニ御配慮願ヒタイ、私ハ寧ロ滑稽ニ考ヘルコトハ現在受刑者トシテ赤イ着物ヲ着テ働くテ居ル連中ガ、陸海軍ノ仕事ヲ監守長ガ部隊長トナツテドント御承知ノ通リヤツテ居リマス者ニ、公權ヲ停止サレテ、身體ガ束縛サレテ居ル受刑中ノ者ガ、軍需工場ニ行ツテ働くコトガ出來ナイト云フ滑稽ナ現實デ勤クコトガ出來ナイト云フ滑稽ナ現實

ノ状態ヲ、司法省ニ於テハドウ御考ヘニナ
ツテ居リマスカ、私ノ町ノ附近ニ海軍ノ火
薬工廠ガアリマス、ソコニハ何百名カノ受
刑者諸君ガ、本當ニ眞剣ニ晝夜兼行軍需工
場ノ爲ニ勤イテ居ル、彼等ハ公權ヲ停止サ
レテ居ル現在受刑者デアル、然ルニ今申上ゲ
ルヤウニ既ニ何年カ經過シテ法律上復權ヲ
シ、恩典ニ依ツテ復權ヲシ、參政權、公民
權即チ名譽職ニ、選ビ且ツ選バルル所ノ復
權ノ恩典ニ浴シ得タ者デアリマシテモ、前
科ガアル爲ニ勤クコトガ出來ヌ、斯様ナ滑
稽ナコトガ現實ニ地方町村ニ於テハ行ハレ
テ居リマス、私ハ司法保護事業ニ關係ガア
リマスノデ、其ノ受刑者諸君ニ色々講演ニ
參ルノデアリマスルガ、刑ヲ終ツテ立派ナ
人間ニナツテ復權シタ、而モ廣大無邊ナル
所ノ陛下ノ大權ノ發動ニ依ツテ、恩赦ヲ戴
イテ復權シタ者ガ勤クコトガ出來ヌ、實ニ
滑稽ナコトデアル、何トカ是ハ便宜ナ措置
ヲ執ツテ戴イテ、司法保護ノ目的ヲ達成シ
テ貰ヒタイト云フ、是等全國司法保護事業
大會ニ於ケル決議ノ要請ガゴザイマシタノ
デ、實ニ私ハサウ云フ意味ニ於テモ司法大
臣閣下ノ御考慮ヲ煩ハシマシテ、サウ云フ
差別的待遇ヲ受ケテ居ル吾々ノ同胞ガ幾万、
幾十万トアルノデアリマスカラ、何等カ
便宜ノ御措置ヲ執ツテ戴キタイ、ソレニ付テ
御意見ノアル所ヲ拜聽致シマシテ、私自身ノ
爲メニモ参考ニ費シタイト思フノデアリマス、
此ノ一點ダケ御伺ヒ致シタイト思ヒマス
○柳川國務大臣 司法保護事業ニ關シテ御
經驗ニ基ク御意見ヲ承リマシテ、資スル所
少カラヌコトヲ感謝シマス、又此ノ刑餘者
ニ對スル御同情モ吾々ノ職務ノ上カラ感謝
スル次第デアリマスガ、今御尋ネノ、昨日

モアリマシタ、前科ガズツト前ニアツテ今
日デハ復權ニモナツテ居ルシ、再ビ氣ガ變
ツテ罪ヲ犯ス憂ヘモナイヤウナ者ニ對スル
處置バ、司法省ト致シマシテモ既ニ考ヘテ
一旦ハ立案シタ位デゴザイマスルカラ、是
ハ何トカシテ前科抹消ノ處置ヲ執リタイト
云フ考ヘラシテ居ル次第デゴザイマス、ソ
レカラソコニハ至ラヌケレドモ、刑餘者デ、
一寸見テハモウ間違ヒハナカラウト思フ者
ガ、前科アルガ故ニ軍需工場等ニ採用サレ
ナイ、即チ世ノ中カラ差別サレルヤウナ關係
上、再ビ世ヲ白眼視シテ捨鉢ニナツテ、
再犯、三犯ト云フ風ニ罪ヲ重ネテ、遂ニ手
ノ着ケラレナイヤウニナルト云フ虞レノア
ルコトモ、御尤モノコトデゴザイマシテ、
サウ云フコトノナイヤウニ、此ノ差別ノナ
イ廣大無邊ノ仁恩ニ浴セシメタイノハ山々
ノ考ヘデゴザイマスルガ、例ニ舉ガラレマ
シタ軍需工場ノ如キハ、恐ラク中ニ重要機
密ヲ有スルヤウナモノモアル爲ニ、制限ヲ
加ヘテ居ルノデアラウト存ズル次第デアリ
マス、ソレヲ受刑中ノ者ト比較シテ非常ニ
滑稽矛盾ノアルヤウナ御考ヘモ御尤モデア
リマスガ、現在受刑中ノ者ハ、御存知ノ通
リニ監視方十分ニ行届クノデゴザイマス、
而シテ受刑中ノ者ニヤラセテ居リマス所ノ
軍事上ノ道具モ、ホンノ部品デアリマシ
テ、部分々々ダケヲヤルコトニナツテ居リ
マシテ、祕密ノモノデアリマシテモ大キナ
祕密ノ程度ニ瓦ルモノハ、ヤラシテ居ラヌ
譯デアリマス、軍需工場等ニ於キマシテ
ハ、結局規模モ刑務所内ノ工場トハ違ヒマ
スノデ、全般ニ瓦ルコトデモアルシ、又監
視モ刑務所内ノ工場トハ同様ニ參リマセヌ
ノデ、是ハ恐ラクサウ云フ關係デアラウ

ト思ヒマス、併シナガラ先ニモ申シマシタ
ヤウニ、既ニ改悛ヲシテ居ルニ拘ラズ世ノ
中カラ容レラレヌ爲ニ、又捨鉢ニナルト
カ、或ハサウナラヌニシテモ僻ミヲ生ズル
ヤウニ周圍カラシテ行カナケレバナラズ、
サウスレバ過チモ犯サズ本人モ救ハレル
自然ニ氣ガ變ツテモ又元ニ戻ルコトノナイ
ヤウニ周圍カラシテ行カナケレバナラズ、
サウスレバ過チモ犯サズ本人モ救ハレル
コトト思ヒマスノデ、出來ルダケハ、只今
例ヲ舉ガラレマシタヤウナ方ニ於キマシテ
モ、事情ヲ能ク斟酌致シマシテ、刑ノ種類
ト力、性質トカ、前ノ犯行ノ事情、其ノ後
ノ改悛ノ情ガ確認サレルカト云フヤウナコ
トヲ斟酌致シマシテ、十分ナ保證ガ出來ル
程度ノ者ナラバ、關係行政官、其ノ他地方
等ノ證明ニ依ツテ、出來ルナラバ採用ノ出
來ルヤウナ方法モ講ジタイト存ジテ居リマ
ス、併シナガラ只今其ノ門鑑ナドヲ直チニ
一般ニ出スト云フヤウナコトマデハ申上ダ
ラレマセヌガ、御説ノ通り行政官廳其ノ他
ト協議ヲンテ、差別ノ待遇ヲ成ベクシナイ
ヤウニ、サウ云フ刑餘ノ人ニ、唯デサヘ僻
ムノニ一層僻ムヤウナ待遇ヲ與ヘナイヤウ
ニシテ、司法保護事業遂行ニ努メタイト思
ヒマスノデ、此ノ上トモ御協力ヲ御願ヒス
ル次第アリマス

リ、民間デモ其ノ考ヘガ出マシテ、殆ド致シ、シダ意見ガアル筈デアリマス、私ハ此ノ前ニモソレハ言ウテ居ルノデアリマスガ、前科者ノ時效ヲ考ヘ、前科アル者ガ何年經テバ時效ニナルカラ時效ニ掛ツタ者ハ前科ヲ一切明記シナイト云フ法律ヲ拘ヘルト云フ約束ガアツタ、是ハ何デモナイ、刑ヲ久如ツテ五年經ツタナラバ時效ニ掛ル、刑ノ如何ニ依ツテハ十年デ時效ニ掛ツテ居ルノゴアリマスカラ、時效ニ掛ツタナラバモウ一切消シテシマヘバ宜イ、大臣ノ仰セニナツタ改悛ノ情著シキ者ハ、行政官廳ト打合セルノ上、ソレヲ抹殺スルト云フヤウニ仰シタガ、ソンナ必要ハナイ、行政官廳ト此ノ問題ト一緒ニナル譯ハナイ、改悛ノ情ガ著シム者、之ニ依ツテ判斷ガ達フ、斯ウ云フハイカヌ、ソコデ或ル者ニ認定ヲサセルト云フコトニナレバ、或ハ愛スル者、或ハ憎イト認メルノカ、ソンナコトハ認メル譯ニコトヲセズニ寧ロ法律ヲ以テキチント決マテシマヘバ宜シイ、所謂前科ガ時效ニ依ツテ消滅スルト云フノデアルカラ、前科ハナクナル、而モ再犯ニナレバ之ヲ延バンシテヤル、三犯ニナレバ尙ほ延バシテヤルト云フコトニナレバ、殆ド公平ニ行クノデアリマス、サウシテ又過チアツテ刑ニ觸レマシテモ、此ノ次ニハヤルマイト云フ考ヘガ出上來ル、折角今度時效ニ依ツテ前科ト云フナルト、行政官廳ノ方ニ頭ヲ下ゲテ行キサヘル、司法院ノ方ハドウデモ宜イト云フコトニナル、是ハ大變ナコトダカラ、サ

○柳川國務大臣 私ガ行政官廳ト協議ヲ
認定スルト云フノハ、行政ノ意味ノコトヲ
言ツタノデ、立法ノ方トカ、法律ノ意味
コトヲ言ツタノデハナイノデアリマシテ、
立法ヲ通ジテ前科抹消ノ規定ヲスルト云
コトハ、目下考慮中デアリマス、其ノ立
デ前科抹消デハナクテモ、公權ガ復活サ
ニテ居ル者ノ採用ノ規定ノ行政上ノコトヲ
今庄司サンニ御答ヘヲシタノデアリマス、
ソコノ所ヲ御諒承願ヒマス、前科抹消ニ
スル件ハ別ニ考慮シテ本年、實ハ案マヂ
來テ居ツタ位デゴザイマスカラ、此ノ點
尙ホ研究ヲ續ケマシテ善處シタイト考
ス

○古島委員 热意ノ程ハ能ク分リマス、
モ約束ハ唯實行シテ貫ヒタイト云フコトハ
常ニ申上ゲテ居ル、先程局長サンノ御話
アリマスガ、局長サンノ御話ハ私ガ申上げ
ル餘裕ノナイ内ニ庄司君ガ指名サレタノデ
之ヲ申上ゲルコトガ出來ナカツタノデスガ
此ノ第五十八條デアリマスカ、第五十八條
ガアリマシテモ、全然是ハ問題ニナリマ
ヌ、此ノ第五十八條ニハ届出ヲスルノデ、ソ
ガ果シテ親族會員ノ署捺印ヲ要スル
是ハ規定デアリマスガ、親族會員ノ署名捺
印ヲ勝手ニ持ヘテ持ソテ届出ヲスルノデ、ソ
ガ果シテ親族會員デアツタカ、親族會員
ナカツタカハ、親族會議招集ノ謄本ガア

シテ、御約束シタコトヲ實行シテ居ルト云
フコトヲ茲ニ御報告申上ゲマス、一昨年ノ
議會デアツカト私ハ記憶シテ居リマスガ、
丁度鹽野大臣ノオイデノ時ニ古島サンカラ
左様ナ御注意ガゴザイマシテ、直チニ十四
年ノ三月末ニ訓令ヲ出シマシテ、裁判所ノ
書記ノ公判廷、豫審廷、調停室、ソレカラ
檢事庭、斯ウ云ツタヤウナ所デ供用スル筆
墨ハ、是ヘ特別用具トシテ官給トシテ出スト
云フ訓令ヲ出シマシタ、是ハ丁度今仰セノ
裁判所ノ會計事務章程ノ中ノ一部ノ改正デ
アリマスガ、サウ云フ訓令ヲ出シマシテ、昭
和十四年ノ四月一日カラ實行シテ居リマス
是ハ全ク御注意ニ依リマシテ直チニ御約束
ヲ實行シテ居ルノニアリマス、唯經費ノ關係モゴザイ
係モゴザイマスノデ、仰セラレルヤウニ或
ハ裁判所ノ職員等ニ、全部筆墨ヲ如何ナル
場合ニデモ出スコトガ出來レバ結構デゴザ
イマスケレドモ、是ハ經費ノ關係モゴザイ
マスノデ、今申上ゲマシタヤウニ、豫審廷
トカ公判廷トカ云フヤウナ所ニ立會ヒマス
書記ノ、其處デ使フ筆墨ヲ出スト云フコト
ダケニシテ居リマス、是ヘドウモサウ云フ
風ナ制限ヲ設ケナケレバ工合ガ惡イト思ヒ
マス、實際デハ只今公判ニ立會ヒマス書記
ノ人ニハ、筆八月ニ二三本出シテ居リマス、
ソレカラ墨ハ一年ニ一本ト云フ位ナ割合
ニ支給シテ居リマス、ソレデ勿論十分デナ
イトハ思ヒマスガ、大體斯ウ云フ程度ニ實
行シテ居リマスト云フコトヲ、茲ニ御報告
申上ゲマス

レカラ受付等ガ別ニナリマスシ、色々ナ不
自由ヲ來スノデアリマス、鑑リニ家ニ持ツ
テ歸ツテ使ハレルコトヲ防グヤウナ分別ヲ
講ジテ、サウシテ筆墨ダケハ給與スル、斯
ウ云フヤウニシテ吳レスト、場所的ニ制限
ヲサレルト、官給品ヲ今度ハ受付テ使フ譯ニモ
ニハ行カヌシ、極端ニ言フナラバ、其ノ墨
斗ヲ取ツテ參ツテ、出先ニ於テ使フ譯ニモ
參ラヌト云フコトニナリマスカラ、ソコヲ
狙ツタノハ、何故サウ云フヤウナ制限ヲシ
タカト言ヘバ、家ニ持ツテ歸ツテ官給品ヲ
私用ニサレルノハ困ル、斯ウ云フ所――マ
アソコガ司法省ノ固イ所デ、外ノ役所ノコ
トヲ言ヘバ隨分無駄ナ紙ヲ、友人間ノ手紙
ノ遣リ取りナドニ、役所ノ紙ヲ使ツタリシ
テヤツテ居ル所ガアリマス、決算デ時々叱
責ガ出ルヤウデアリマスガ、サウ云フヤウ
ナコトヲヤツテ居ル、司法省デサウ云フヤ
ウナコトヲ、固クヤルコトニ致シマシタノ
ハ結構デアリマスガ、餘り場所ノ制限ヲセ
ズシテ、少シ緩メテヤル譯ニハ行カヌノデ
スカ、ソコハ御心配ノアル所デセウガ、何
トカ緩メテヤツテ場所ヲ限ラズ、物デ制限
スルト云フコトノ方ガ、宜イノデハナカラ
ウカト思ヒマスガ、如何デアリマセウカ
○石田政府委員 細カク申上ゲマスト、角
色規定ガアルノデアリマシテ、辭令ヲ書キ
マス筆墨ダトカ、刑事事務ニ用フルモノハ
ルノデハナイカ、丁度ココラガ宜イノデハ
ナイカト、私共心得テ居リマス、御話ノヤ
トニナレバ、自然濫用スルヤウナコトニ
ドウダトカ、色々ナ規則ガゴザイマスノデ
之ヲ場所ヲ決メナイデ勝手ニ使フト云フコ
トニナレバ、自然濫用スルヤウナコトニ
ルノデハナイカ、丁度ココラガ宜イノデハ
ナイカト、私共心得テ居リマス、御話ノヤ
トニ致シマシテモ、ドノ程度マデ擴メルカ
ト云フコトハ、難カシイノデハナイカト思

ヒマス、此ノ邊ガ丁度宜イノデハナイカト

私ハ思ツテ居リマス
〔席〕

〔飯村委員長退席、仲井間委員長代理着

席〕

○飯村委員 議員諸君ノ發言ハ大體ニ於テ

終了シタヤウデアリマスカラ、私ヨリ此ノ

際一、二質疑スルコトノ御許シヲ得タイノ

デアリマス、先ヅ第一ニ陪審法中改正法律

案ニ付テ、質疑ヲ試ミタイノデアリマスガ、

前回ノ會議ニ於キマシテ、陪審法ヲ存置ス

ベキカ、廢止スペキカト云フヤウナ論點ニ

對シテハ、相當活潑ニ質疑應答ガ交サレタ

ノデアリマス、私ハ寧ロ此ノ際思ヒ切ツテ

廢シテシマフ方ガ、宜イノテハアルマイカ

ト云フ考ヘヲ持ツテ居リマス、左様ナ考ヘ

方カラ致シマスレバ、今回ノ提案ハ固ヨリ

贊成デアリマス、斯様ナ改正案ガ提出サレ

タ今回、顧ミマスレバ昭和十二年七月二十

五日、陪審法ノ改正案ガ議會ニ提案サレタ

ノデアリマス、御承知ノ如ク共同被告人多

數ノ場合、被告事件ガ複雜ダ、公判審理ノ

爲ニ長時間ヲ要スルト云フヤウナ場合ニハ、

檢事ヨリ陪審ノ評議ニ付セザルコトヲ、請

求スルコトガ出來ルト云フ案ヲ初メテ出シ

マシテ、第九條、第十條等三箇條ニ亘ル改

正案ガ、提出致サレタノデアリマス、私共

ハ先刻申上ゲマスル考ヘ方カラ申上ゲマス

レバ、此ノ議會ニ此ノ改正案ヲ何故ニ、提

出致サナカツノデアルカ、此ノ點ニ關ス

アリマスガ、全ク絶無ト云ノデハアリマ

セヌ、御承知ノ通リニ陪審制度ハ、國民ヲ

シテ犯罪事實ノ有無ニ付テ、常識アル判斷

ヲナサシメ、以テ裁判ヲシテ誤リナカラシ

メントスル、宏遠ナル理想ノ下ニ設ケラレ

タモノデアリマスカラ、今直チニ之ヲ廢止

スルコトナク、今暫ク成行ヲ見タイト考へ

テ居リマス、非常ニ高イ理想ヲ以テ設ケラ

レタ制度デアリマスカラ、是ノ變更廢止等

ニ關シマシテハ、慎重ニ考慮致シタイト考

ヘテ居ル次第デゴザイマス、今回ノ改正案

モ根本ニ觸レタ改正デハゴザイマセヌ、只今

差當リ處理上手數ノ多イモノヲ、差支ノナ

イ限度ニ於キマシテ、之ヲ簡易化スルダケ

ノ改正ヲ、提案シタヤウナ次第デゴザイマ

ス、此ノ點御諒承願ヒマス

○飯村委員 只今大臣ヨリ御答辯ヲ煩シマ

シテ有難ウ存ジマス、私ノ御伺ヒシマシタ

ノハ、今回ノ御提案ニ付キマシテハ私ハ大

賛成デアリマスガ、尙ホ一步進ンデ會テ昭

和十二年ニ提案サレタ案ヲナゼ出サヌカ、

此ノ點ニ付テノ御答ヘヲ願ヒタイノデアリ

マス

○大竹政府委員 此ノ前ノ案ハ被告人多數

等ノ事由ニ依リマシテ、陪審ニ付スルコト

ガ適當デナイト思ハレルモノハ、陪審ニ付

セナクテモ宜イト云フヤウナ、趣旨ノモノ

デゴザイマシタガ、其ノ後ノ事件ノ件數等

ヲ見テ居リマスト、段々事件ガ減ツテ参リ

マシテ、三、四件位シカナイト云フヤウナ

トシナイト云フヤウナ事件モ、具體的ニ現

ハレテ參リマセヌ、ソコデ差當リ困ツテ居

テ、最近年間ハ毎年數件ニ過ギナイ有様デ

ル御答辯ヲ煩ハシタイノデアリマス

○柳川國務大臣 御説ノ通リニ、只今陪審

制度ガ行ハレマス數ハ、逐年減少致シマシ

テ、正案ガ、提出致サレタノデアリマス、私共

○飯村委員 只今ノ點ニ對スル質問ハ其ノ程度ニ致シテ置キマス、次ニ私ハ司法改革

「根本ニ付テ、御意見ヲ承リタイノデアリ

マス、申上グルマデモナク我ガ司法部ガ、

國民ニ對シマシテ生殺與奪ノ大權ヲ奉行ス

ル、重要ナル 天皇ノ機關デアルコトハ申ス

マデモナイコトデアリマス、帝國憲法ガ司

法部ヲ以テ獨立ノ府トナシ、裁判官ヲ以テ

終身ニ官ト定メ、大臣宰相ト雖モ苟クモ之

ニ干渉出來マセヌ制度ガ確立シテ居リマス

ノハ、是ガ爲デアルト存ズルノデアリマス、

國家ノ存スル所必ズ裁判機關ガアリ、裁判

ハ實ニ國民ノ機關ニシテ、國家ノ生命デア

ルト存ズルノデアリマス、殊ニ刑事裁判ニ

於テ其ノ然ル所以ヲ、私ハ痛感致スノデア

リマス、是ガ爲ニ支那上古以來、王道政治家

ハ勿論、我ガ國ノ政治家ノ最モ重要視シテ

官僚屬僚ノ事務デハアリマセヌ 天皇大權

ノ發動、而モ國民ニ對スル直接ノ發動デア

リマス、裁判ヲ以テ私ハ最高ノ政務ナリ、

屬僚ノ事務ニアラズ、此ノ信念ヲ抱イテ居

ルノデアリマス、然ルニ頃來我ガ國ノ司法

部ニ對スル非難ト申シマセウカ、往々ニシ

テ非難ヲ耳ニ致スノデアリマス、檢察事務

ガ常軌ヲ逸シ、豫審ノ運行ガ其ノ本旨ニ悖

リ、裁判又其ノ公正妥當ヲ疑ハシムルヤノ、

悲シムベキ運命ニアリマスコトハ、私ヨリ

申上グルマデモナイ所ト存ズルノデアリマ

○中島政府委員 司法制度調査會ガ議會其ノ他デ御約束致シマシタ問題ニ付テモ、色

氏ハ其ノ趣旨ヲ諒トシ、之ニ善處スベキ旨

ヲ聲明致サレタノデアリマス、此ノ決議案

ス、此ノ點御諒承願ヒマス

○柳川國務大臣 司法ノ任重ク、又一方ニ

於キマシテ國民ノ休戚ニ關スルコト、裁

判ノ尊嚴ノ地位ニアルコト等、悉ク御意見

ノ通リデゴザイマシテ、全ク御同感ヲ申上

ゲル次第デゴザイマス、司法制度根本改革

ニ關スル決議案ノ御趣旨ハ、司法省ニ於キ

マシテモ之ヲ尊重致シマシテ、其ノ後司法

制度調査委員會等ヲ設ケマシテ、是マデ調

査ヲ繼續致シテ居ルノデアリマスガ、其ノ

内容ノ詳細ニ至リマシテハ私就任日淺クシ

テマダ承知シテ居リマセヌカラ、局長ヲシ

テ說明セシムルコトニ致シマス

○中島政府委員 司法制度調査會ガ議會其ノ他デ御約束致シマシタ問題ニ付テモ、色

研究致シマシタ、ソレテ外部カラ來テ戴キ

マシタ委員諸君カラノ熱心ナル御意見モ、

十分拜聽致シマシタ、或ルモノニ付テハ成

マシタ法案ニ付テハ他ニ付テハ他ニ付テハ

シタ法案ニ付テハ他ニ付テハ他ニ付テハ

シタ法案ニ付テハ他ニ付テハ他ニ付テハ

シタ法案ニ付テハ他ニ付テハ他ニ付テハ

シタ法案ニ付テハ他ニ付テハ他ニ付テハ

シタ法案ニ付テハ他ニ付テハ他ニ付テハ

シタ法案ニ付テハ他ニ付テハ他ニ付テハ

シタ法案ニ付テハ他ニ付テハ他ニ付テハ

シタ法案ニ付テハ他ニ付テハ他ニ付テハ

シタ法案ニ付テハ他ニ付テハ他ニ付テハ

完全ニ實現スルコトヲ得マシテ、目下第二次世界大戦迎ヘテ、十分其ノ目的ヲ完遂ニ努力シテ、其ノ成果モ相當擧ゲテ居ル次第アリマス、尙ホ此ノ司法制度ニ付テノ研究ヲ致シテ參リマシタ委員會ハ、委員會ノ整理ノ問題ニ掛リマシテ、之ヲ一時取止メルノ已ムナキニ至ツテ居リマシテ、其ノ點ニ付テハ吾々ニ於テモ遺憾ニ存ジテ居リマスガ、尙ホ此ノ上トモ機會ヲ得マシタラ又司法制度ノ研究ニ付テハ、努力ヲ續ケテ行キタイト思ヒマス、ケレドモ私達シテ委員會ガ廢ヌニナリマシタハ言ヒマスガ、民事訴訟法ノ改正、又刑事訴訟法ノ改正ト云フコトニ付テハ、非常ナ關心ヲ持ツテ居ルノデアリマシテ、或ル問題ニ付テハ一時モ早ク實現シタイト考ヘテ居ルコトガ多々アリマス、司法省ニ於テ是ハ表向ノモノデハゴザイマセヌガ、内部的ニ民事訴訟法、刑事訴訟法ノ改正準備會ト云フモノヲ設ケテ、ソレハ内部ノ委員ヲ集メテ折角努力研究中デアリマス

ツタト云フ今日ノ御答辯ヲ聽キマシテ、大イ
トハ實ニ吾々常識上考ヘテモオカシナコト
デ、ヤツト數年前カラソレガ出タト云フコ
ノハ、他ノ官廳ノ任務ト違ヒマシテ消極的
デアル、持込マレタ仕事ヲヤル、之ニ根本
原因ガアルト思フノデアリマス、司法當局
ハ豫算ノ取り方ガ手下デアル、手下デアル
トハ言ハヌノデアリマスガ、所謂謙讓ノ美
徳デ、此ノ爲ニ從來豫算ニ對シ執着ガナカ
ツタノデハアルマイカ、是ガ爲ニ檢事豫審
制度ヲ如何ニ改正スルカ、先刻中島政府委
員ヨリ御答辯ニナリマシタ通り、ソレニ付
テ各裁判所、檢事局、民間公私團體等ニ對
シ諮詢ヲ發シ、其ノ回答ヲ得テ居ルモノガ
アルヤウデアリマスガ、是ハ何トシテモ改
正シナケレバナラヌ、幾多改正意見ハアリ
マスガ、多クハ増員優遇、是等ノコトハ最
モ重要ナコトト私ハ考ヘテ居リマス、司法
部ト云フモノハ先刻申ス通り、全ク 天皇ノ
大權ガ直接國民ニ發動スル役所デアリマス
カラ、軍部豫算ニ次グ――次グト云フ言葉
ヲ用ヒタクナイノデアリマスガ、吾々議員
トシ、國民ト致シマシテハ、何ト致シマシ
テモ司法部ヲ革正シ、革新スル爲ニハ、如
何ナル犠牲ヲ拂ヒマシテモ此ノ豫算ヲ承認
シナケレバナラヌ、吾々ハ常ニ斯様ナ心構
ヘヲ持ツテ居ルノデアリマス、先程石田政
府委員ノ御答辯ヲ聽キマシテモ、豫算ノ許
ス限リト言ハレルガ、會計課長トシテハソレ
デ宜イノデアリマスガ、政府委員トシテハ
テ欲シイト思フ、或ハ現ニ其ノ態度ノ下ニ

吾ノ側カラ見マスト、ドウモ其ノ點ガ物足
ラヌ感ジガ致スノデアリマス、甚ダ失禮ナ
ニ於テナラバ豫算ノ奪ヒ合ヒヲ大イニ歎迎
スル、謙讓ノ美德ハ之ヲ擲棄シテ、何トシ
テモ此ノ金ハ要ルノダト云フコトニナレバ、吾々ハ之ニ臨マナケ
繰返シテ申シマスガ、軍部豫算ヲ協賛スル
ト同様ナ覺悟ヲ以テ、吾々ハ之ニ臨マナケ
レバナラヌ、ドウモ今日マデノ司法部ニ對
スル非難ノ根本ト云フモノハ、豫算ノ關係
ニアツタ、人員ノ不足、優遇問題、今日ニ
於キマシテハ司法官ノ待遇モ他ノ官廳ト匹
敵スルヤウニナツテ參リマシタガ、是ハ最
近ノコトデアル、是方根本的ニ誤ツテ居ル、
今後ハ斯ウ云フ方針ヲ以テ御進ミニナルコ
トガ最モ肝要ト、自分ハ考ヘテ居リマスケ
レドモ、之ニ對スル御考へハドウデアルカ、
更ニ又司法部革新ノ根本問題ハ、法令ノ改
廢ハ勿論デアリマス、中島政府委員ヨリ御
答辯ニナリマシタ通リデアリマスガ、改廢ス
ベキ法令、改正スベキ法令ハ民法、刑法ヲ
初メ、監獄法、實ニ山積ヲ致シテ居ル、是ハ
一日モ早く改正ヲ致サナケレバナラスト確
信ヲ致シテ居ル、先刻御話ノ調査會ノ一時
廢止ニナラレマシタコトハ、洵ニ遺憾千萬
デアリマスガ、何トシテモ是等ノコトニ萬
全ノ努力ヲシテ燐カナケレバナラナイト存
程當時、ヤハリ陪審法ノ委員會ニ於キマシ
ズルノデアリマス、更ニ第三ト致シマシテハ、
リマスガ、司法當局ハ司法官ノ教育ハ大贊
司法官ノ教育問題、昭和十二年ノ決議案上
成デアル、其ノ通りデアルト言ハレタガ、

其ノ後司法省ノ施設等ヲ見マスト、ソレハ私カラ申シマスレバ、手ヲ染メタ程度デアリマス、再教育ノ問題ハ極メテ肝要ナコトデアルト私ハ思フガ、アノ程度デハマダ／＼デ、是カラデアルト思フ、端的ニ申シマスナラバ、他ノ行政官ト等シク法科大學ヲ卒業シ、國家試験ヲ受ケル場合ニ、司法官ニナル人ト、他ノ内務省ノ役人ニナル人トヘ、唯試験科目ガ一科目カ二科目ダケシカ違ハナイ、ソレダケデ以テ一つハ内務省、一つハ司法省ニ入ル、司法官試補ハ二年ニ延長サレタ、是ハ結構デアリマスガ、此ノ根本ハドウカト私ハ大ナル疑問ヲ懷イテ居ルノデアリマス、大學ヲ出テ國家試験ニ及第シテ、内務省ニ入ル、厚生省ニ入ル、爲仕事ハ如何ナル仕事ヲスルノデアリマセウカ、司法官ノ仕事ハ如何ナル仕事ヲスルノデアリマセウカ、所謂生殺與奪ノ大權ヲ行使スル所ノ最高ノ政務ヲナサルノデアリマス、是ハ文部省ノ所管ニ關スルコトデアリマスガ、試験合格後ノ再教育問題ハ、學生時代ノ教育ニ源ヲ置カケレバナラスト確信シテ居ルノデアリマス、之ニ對スル司法當局ノ所見如何、更ニ最後ニ、私モ知レマセヌ、誤ツテ居ツタナラバ御訂正ハ此ノ職員ノ配置ニ付テ伺ヒタイト思ヒマス、私ハ内部ノコトハ存ジテ居リマセヌノデ、或ハ私ノ申上ゲルコトガ誤ツテ居ルカ考ヘル、私共ハ茨城デアリマスガ、甚ダ亂暴ナ言葉デアリマスガ、端的ニ言フナラバ茨城縣民ニハ大審院ノ必要ハナイ、茨城縣民ニ必要ナノハ水戸ノ裁判所、下妻、土浦

ナリト私ハ常ニ考ヘテ居ル、大審院、控訴院ハ必要ナノデアリマス、又國民ノ實際生活ニ直接關與致スモノハ、此ノ最下級ノ裁判所接重大ナル關係ヲ持ツテ居リマス下級裁判所ノ職員、之ニハ最モ優秀ナル者ヲ御任命ニナラナケレバイカヌデヘナイカト考ヘテ居ルノデアリマシテ、是ハ私ノ過去十數年來ノ持論デアリマス、今日私ノ見ル所ヲ以テ致シマスレバ、茨城アタリハ左程デモアリスママイガ、北海道ヤ九州ノ山奥ノ裁判所ノ判檢事諸君ハ、中央ノ大都會ノ判檢事諸君トフモノガ中央ニ集マル、サウシテ地方ニハ中央ノ方ニ比べマシテ、ソレヨリ劣ル方ガ多イデハナイカト考ヘテ居ル、私ハ寧ロ地方ノ山間僻地、所謂下級裁判所ニ職ヲ奉ゼラレル所ノ司法部職員ニ付テハ、格段ナ御考慮ヲ煩ハシタイト存ズルノデアリマス、東京ナラバ自分一人テ判斷ニ迷フ場合ニ於テハ先輩アリ、ソレドヽ調査研究機關モアリマスガ、北海道ノ山奥ニ入り、茨城ノ山奥ト云ヘバ太田區裁判所デアリマスガ、是等ノ人達ガ判斷ニ迷フ場合ニ於テモ、其ノ迷ヒヲ解ク所ノ機關ヲ持タナイ、私共ノ所ニ來ル依頼人ハドウセ東京ニ來ナケレバ分ラヌカラヤツテ來マシタト言ツテ居ルガ、之ニハ困ツテ居ル、ソレハ誤ツタ考ヘデアル、裁判ト云フモノハ第一審ガ一番大事デアル、此處デ誤タ判決ヲ一旦受ケルト、申申覆ヘセルモノデハナイ、又覆ヘルヤウデ

ハ大變テアル 上告オレノ輕クナルト云
ヤウナ觀念ガ國民ノ頭ニ入ツタナラバ、是
ハ容易ナラヌコトデアル、然ルニドウモ私
共ノ見ル所ヲ以テ致シマスレバ、此ノ觀念
ガ纏漫致シテ居ル、斯様ニ私ハ申上ゲタイ
ノデアリマス、職員ノ配置ニ付テハ、北海道
ノ山奥ノ區裁判所ノ判事モ、高等官二等ノ勅
任官ニモナレルト云フ 制度ニ致スコトガ、
此ノ司法ノ使命ヲ達成スル所ノ根本デハア
ルマイカ、斯様ニ私ハ考ヘテ居リマスガ、
之ニ對スル司法當局ノ所見ハ、如何デアル
カ、御伺ヒ致シタインデアリス

第二テニヤイマスガ御意見御方モテニヤ
イマシテ、先程來他ノ御質問ニ對シテ御答
へ致シマシタ通り、出來ルダケ纏マルモノ
ハ纏メ、又部分改正ヲ成ベク速カニ立案致シマシテ、
提案致シタイ考へゴザイマス、第三問ハ、
司法官ノ教育ノ問題デアリマス、只今司法
官再教育ノ爲ニ司法研究所ヲ設ケテ居リマ
スガ、是デハ御説ノ通り十分トハ申シ難イ
ノデアリマシテ、更ニ多少工面モ致シテ居
リマスガ、是デモ尙ホ十分トハ申兼ネルト
思ヒマス、又採用方法等ニ付キマンテモ、
尙ホ考慮ヲ要スベキ點モアリマセウシ、御
説ノ通リニ、學校在學中カラ何等カノ方法
ヲ考ヘ、教育竝ニ採用方法ニ付テ考ヘナケ
レバナラヌコトモアルヤウニ存ズルノデゴ
ザイマスカラ、十分研究ヲシテ善處致シタ
イト考ヘテ居リマス、次ニ第四問ハ、職員
ノ配置、直接國民ニ關係ヲ有スル下級裁判
所、殊ニ區裁判所ノ職員ハ、本來優秀ナ才
能ヲ有スベキデアルニ拘ラズ、中央ニ居ル
者ヨリモ見劣リガスル感ガアルガ、之ニ對
シテノ考へハドウカ、裁判ハ第一審ニ最モ
力ヲ用ヒテ過チナキヲ期セナケレバナラヌ
ト云フ御所見ニハ、私ハ御同感デゴザイマ
ス、是ハ私個人ノ經驗デ言ヒマシテモ、獨
立シタ任務ヲ執ル者ニハ、假令其ノ地位ガ
低クテモ、他ノ者ト同所ニ勤務スル者ヨリ
モ、獨立シ得ルダケノ力ヲ有スル者ヲ充當
旨デアリマセウガ、或ハ當ヲ得テ居ナイモ
デゴザイマシテ、出來ルダケサウ云フ風ニ
致シタイト考へテ居リマス、從來モ其ノ趣
ナリマシタヤウニ、直接國民ニ關係ノアル

○佐竹委員 一言一寸御尋ネシテ置キマス、過日ノ民事局長ノ御答ニ依リマスト、競賣制度ハ持續スル、但シ動産ニ付テハ尙ホ他ニモ方法ガアルト云フ御答ヘデアリマシタ、然ルニ實際ハ公定價格、或ハ停止價格ト云フモノガ出來テ參ルト、競賣制度ハ殆ド廢止同様ニナルノデハナイカト申シマシタ際ニ、局長ニ於カレマシテハ、現在ニ於テハ公定價格ヲ超エテ入札スルヤウナ場合ハ殆ドナイ、ソレ以下デ行ハレテ居ルノデ、尙ホ此ノ制度ノ運用ノ價值ハアル旨ノ御答辯ヲ戴イタノデアリマス、併シ御承知ノヤウニ最近非常ニ物資ガ少クナリマシテ、裁判所或ハ警察署等ニ於ケル競賣ヲ狙ヒマシテ、盛ニ糾ツテ買フ傾向ガアリマス、過日モ當院デ問題ニナツタノデアリマスガ、大阪ノ稅關ノ拂下ゲ物品ヲ大變糾上げテ買ツテ、是ガ違反ニ問ハレタコトガ大問題ニナツタ、或ハ私共ノ實見致シマス所ニ依リマシテモ、警察署ノ二階デ競賣ヲヤツテ、ソコカラ持ツテ歸ル途中デ、價格ヲ超エテ買ツタト云フノデ直グ引張ラレタト云フヤウナコトサヘルノデアリマシテ、裁判所ニ於ケル最近ノ傾向モ、必ズシモ安心ナラスト考ヘマス、是ニ於テ公定價格以上ニナルト、全部其ノ入札ガ無効デアル、斯ウ云ツタ時ニ、例ヘダケ述べテ置キマス

○飯村委員 當局ノ御答辯ハ能ク了承致シマシタ、之ヲ以テ私ノ質問ヲ終リマス
〔仲井間委員長代理退席、飯村委員長着席〕

キリシマセヌケレドモ、大體千二、三百人アルヤウニ考へラレルノデアリマス、而シテ受験ヲ繼續シ、或ハ一回置キ位ノ者モアリマセウガ、ソレ等ノ現ニ眞劍ニナツテ試験ヲ受ケツツアル者ガ、尙ほ三百名近クアルヤウニ考へラレルノデアリマシテ、ソレガ本年ノ十二月末デ打切ラレマスト、志ヲ中道ニシテ斷タレルト云フコトニナルノデアリマスガ、而シテ是等ノ受験生ノ多數ハ、何レモ皆相當ノ年輩ニ達シテ居リマシテ、尙ホ其ノ志ヲ捨テナイデ、孜々トシテ其ノ目的ニ向ツテ努力ヲ續ケテ來テ居ルノデアリマシテ、今更方向ヲ變ヘルト云フコトモ困難ナモノガ多イノデアリマスルシ、中ニハ全ク不可能ノ者モアルノデアリマシテ、是等ヲ徒ラニ其ノ途ヲ遮ツテシマフト云フコトハ、本人ノ不幸ハ言フマデモアリマセヌガ、是ハ又國家ノ人材ヲ擧ゲルト云フ上ニ於テモ決シテ利益ナコトデハナイノデアリマシテ、是非此ノ期限ヲ尙ホ五箇年間延長ヲ致シマシテ、受験ヲ繼續セシムルヤウニシテ貰ヒタイ、斯ウ云フノデアリマシテ、而シテ其ノ試験ハ嚴格ナル試験ヲ行ハレルノデアリマシテ、何モオ情ケニ依ツテ其ノ合格者ヲ採ツテ貰ヒタイト云フ意味デハ勿論ナインデアリマス、即チ實力ノアル者ヲ検定スルノデアリマスカラ、何等年限ヲ延ベマシタコトニ依ツテ幣害ハ私ハ生ジナイト考ヘルノデアリマス、左様ナ趣旨カラシテ何トカ今回モ政府ニ於カレテハ、此ノ法律案ニ御同情ノ上ニ御賛成ヲ願ヒタインデアリマスガ、御賛成ガ若シ得ラレナイトスルナラバ、消極的ナガラ丁度此ノ前ノ十二年ノ改正ノ時ニモ政府ノ御意見ハ、是ガ兩院ヲ通過致シタ際ニハ十分

二考慮ヲスルト云フ御答辯ヲ得テ、而シテ是ガ現行法ニナルヤウニ成立ヲ致シタノデアリマスガ、今回モ少クモ同様ノ御取扱ヲ御願ヒ致シタイト思フノデアリマス、而シテ年限ハ前回ハ四年デ今回ハ五年ニ致シテ居ルノデアリマスガ、若シ此ノ五年ガ認メラルマセヌナラバ、其ノ年限ヲ幾分短縮スルコトモ已ムヲ得ナイト思フノデアリマス、而シテ今期議會ノ情勢カラ見マシテ、議員提出ノ法律案ト云フヤウナモノハ、殆ンドキは認メナイ狀態ニアツタノデアリマスガ、御承知ノ通り今回ハ議員提出ノ法律案ト云フノハ是一ツデアリマス、是ハ議員俱樂部ニ於ケル政務調査會ニ於テモ、此ノ重要性ヲ認メラレ、又議員總會ニ於テモ此ノ提案ヲ承認セラレタノデアリマシテ、左様ナ特殊ノ取扱ヲ受ケテ居リマス關係モアリ、而シテ又本年十二月三十一日全ク是ハ期限ガ切レルノデアリマスカラ、ヤハリ緊急ヲ要ス、前ニ提案シタ十人ノ者ガ同様ニ今回モ提案者ニナツテ居ルノデアリマス、同ジ考ヘラ以テ此ノ法律案ヲ提出シタ譯デアリマシテ、ドウゾ此ノ點ヲ十分ニ御同情下サインシテ、本案ニ御賛成ヲ御願ヒ致シタイト思フノデアリマス、簡單ナガラ以上ヲ以チマシテ、本案ニ御賛成ヲ御願ヒ致シタイト思フニ付キマシテ、仔細ニ私ハ検討ヲ致シテ見マシタガ、大體ニ於テハ妥當ナル御改正ノヤウニ見テ居リマス、唯都會本位、都市集中主義ニ稍、墮シタル感ノアル區〇飯村委員長　是ヨリ各案ニ對スル質疑ヲ許可致シマス——庄司一郎君

域變更等モアルヤウデゴザイマスルガ、一體今回管轄區域ノ變更ヲ御提案ニナルマデハ、ソレドヽ各地方ノ關係町村ノ請願等ガ主ナル動機デアラレタカドウカ、司法省獨自ノ自發的ノ成案ヲ得ラレテ御提案ニナラレタモノカドウカ、關係町村等ノ多年ノ請願ヲ容レラレテ改正提案ヲナサレタモノデアルカドウカト云フコトヲ、御尋ネ申上ゲタイト思ヒマス、私ハ實ハ宮城縣大河原區裁判所所在ノ現職ノ町長デアリマシテ、隨ヒマシテ區裁判所トハ密接ナル關係ガゴザイマスル、即チ戸籍寄留事務ニ付テ監督判事ノ指導監督ヲ受ケテ居ル、詰リ司法省ノ院外園ノヤウナ仕事ヲヤツテ居リマス關係モアリマスガ、私ノ町ニゴザイマスル區裁判所ノ管轄區域デゴザイマシタ瓦理郡六箇町村ガ、今回此ノ改正案ニ依リマシテ仙臺町村ガ、今回此ノ改正案ニ依リマシテ仙臺區裁判所ニ變更ニナルヤウニ御提案ニナツテ居リマス、是ハ卒直ニ申上ゲマスト、交通機關ノ便否ノ上カラ申シテ、仙臺裁判所ニ是ガ變更ニナルノガ極メテ妥當デアリマス、其ノ理由ハ阿武隈山脈ガアリ、ソレニ茲行シテ阿武隈川アリ、大キナ橋ガアリマシテ、私ノ町カラハ「バス」ガ一日數回瓦理郡ニ行ツテ居リマスガ、兎ニ角阿武隈川ト云フ大キナ川ヲ越エ、阿武隈山脈ト云フ大キ山ナヲ越エテ瓦理郡ト往復シテ居ル關係上瓦理郡ノ六箇町村ハ、私ハ大河原區裁判所管内ノ町村長ノ會長等ヲ致シテ居リマスカラ、私ノ町ニ所在シテ居ル區裁判所ノ管轄區域ガ、六箇町村今回ノ改正ニ於テ減ルト云フコトハ、感情ニ於テハ洵ニ寂シイノデアリマス、ケレドモ、併シナガラ理性的

ニ考ヘマスル場合ニ於テ、是モヤハリ一種
ノ新體制ノ改正デアルト考ヘマシテ、最後
ニ於テハ此ノ原案ニ無論御贅成ヲ申上ゲマ
スル所以デアリマスルガ、私ノ質問ノ要點ハ
司法省獨自ノ考ヘヲ以テ二十幾ツノ區裁判
所ノ管轄區域ノ變更ノ御成案ヲ得ラレタノ
デアリマスカ、關係町村等ニ諮詢ヲサレ、
多年ノ請願等ヲ御参考ニサレテ此ノ改正案
ヲ御提案ニナラレタノデアルカドウカト云
フ一點ヲ、先づ以テ御伺ヒ申上ゲル次第デ
アリマス。

○中島政府委員 今回ノ管轄ノ變更ハ、當
省ニ於テ獨自ノ見解デ決メタノデハアリマ
セヌ、各地ノ裁判所ノ長官ノ方ニ照會致シ
マシテ、案ヲ上申セシメマシテ、更ニ其ノ
上デ現地町村ノ意向ヲモ確メ、各方面トモ
異存ノナイモノト認メタモノヲ取上ゲタノ
デアリマス、其ノ中ニハ既ニ議會ニ請願又
ハ當省ニ對スル陳情ヲ重ネタモノモ少クナ
イノデアリマス、數字ニ付テ申上ゲマスト、
昭和十五年七月、各控訴院長、檢事長宛ニ
交通機關ノ變遷ニ伴フ管轄變更ノ要否ニ付
テ、照會ヲ致シマシタ、之ニ對シ上申ノア
ツタモノ全國デ二十八箇所アリマス、此ノ
上申ノアツタモノニ付テ交通ノ概況、經濟
取引事情ナドヲ十分調査致シマシテ、關係
官民デ異論ノナイモノ二十一箇所ヲ選ンデ、
立案シタ次第デアリマス、此ノ二十一箇所
ノ中、從前カラ請願又ハ陳情ノアリタルモ
ノガ十箇所デアリマス。

○庄司委員 大體只今ノ御答辯デ了承致シ
マシタ、此ノ際之ニ關聯シテ御伺ヒヲ致シ
所設置ノ法律案ノ場合ニ、多分一昨年デア
ツタカト思ヒマスガ、私ガ不圖氣ガ付キマ

シテ、福島縣郡山市ノ郡山區裁判所等ニハ、地方裁判所ノ支部ト云フモノヲ併置サレルコトガ極メテ妥當デアルマイカト云フ私ノ質問ニ對シテ、ソレノ御答辯ガアツタノデアリマス、然ルニ私其ノ後國策會社ノ東北振興ニ實地研究旁、只今ノ郡山市ノ情勢ヲ見マスルト、郡山ガ市制ヲ施行サレテココ僅カ十年内外デアリマスガ、町制時代ハ人口二万八千ノモノガ今ヤ七、八万ノ人口ニナツテ居リマス、又東北本線及ビ磐越關係ノ東線西線ノ交通關係ハ、東北六縣ニ於テ汽車ノ往復七十何回ト云フ郡山「ステーション」ト云フモノハ、東北一ノ大「ステーション」デアリマス、ソレカラ「ステープル・ファイバー」ノ工場デアルトカ、其ノ他凡ユル近代的ノ工業ガ發達ヲ致シマシタ、只今ハ約十万ノ人口ニ近イ程度ニマデ、郡山市ノ市勢ト云フモノハ駿々乎トシテ發展向シテ居ルコトハ、商工省ニ於カレマシテモ御承知ノコトト思フノデアリマス、然ルニ御承知ノ如ク郡山ハ區裁判所デゴザイマシテ、當然地方裁判所ノ支部ヲ開設サレテ然ルベキ郡山市ノ情勢デゴザイマス、是ハ獨リ郡山市ダケデハナイ、其ノ郊外ニハ關係町村ト云フモノガ多數アルノデアリマス、而モ郡山市ハ福島縣ノ地理的關係カラ見マスルト、當然郡山區裁判所ニ支部ヲ設ハ地方裁判所ガアリ、縣南ノ白河町ニハ支部等ガゴザイマスルガ、只今ノ現勢カラ考ヘマスルト、當然郡山區裁判所ニ支部ヲ設置スルコトガ妥當デアルト考ヘテ居リマスガ、是ハ關聯事項ト致シマシテ、参考ノ爲ニ御伺ヒ申上げタイト思フノデアリマスガ、支部ヲ開設サルルト云フヤウナ御意向ハ、獨リ郡山市ノミナラズ、全國的ニ郡山市ノ

○古島委員 電話ノ郡山ニ付テハ當局ニ於キマシテモ、色々考慮中デアリマス、或ル時期ガ來マシタラバ、十分具體的ナ案ヲ立テタイト思ツテ居リマス
○庄司委員 私ノ質問ハ是デ終リマシタ
○飯村委員長 古島君
○古島委員 私モ一言承ツテ置キタイノデアリマス、本法案ノ出マシタノハ交通機關ノ變遷及ビ經濟關係ノ動向ニ鑑ミテ出シタト云フコトデアリマスガ、大正二年以來交通工具ノ變遷ノ變遷ハ、成程或ル程度マデ變遷ヲ致シテ參リマシタ、所ガ其ノ後ニナツテ又事變後更ニ交通機關方逆轉ヲ致シタノデアリマス、其ノ逆轉前ニハ相當設置シテ然ルベキ所モ、此ノ逆轉後ニナツテハ、又元ニ戻ツタト云フ所ガ中々少クナインデアリマス、今控訴院長會議ニ於テ協議ヲシタトカ、所轄裁判所ノ長官ノ御意見ヲ聽イテヤラレタト云フコトデアルガ、是ハ最近ノ御意見セウカ

○中島政府委員 只今申上ゲマシタ長官ノ意見ヲ徵シタト云フノハ最近ノコトデアリマシテ、昨年ノ夏頃カラ暮ニ掛ケテ段々回

ヤウニ町村ノ合併其ノ他ニ依ツテ、急激ニ人口ノ膨脹シタ都市ニ對シマシテハ、左様コトガ極メテ妥當デアルマイカト云フ私ノ質問ニ對シテ、ソレノ御答辯ガアツタノデアリマス、然ルニ私其ノ後國策會社ノ東北振興ニ實地研究旁、只今ノ郡山市ノ情勢ヲ見マスルト、郡山ガ市制ヲ施行サレテココ僅カ十年内外デアリマスガ、町制時代ハ人口二万八千ノモノガ今ヤ七、八万ノ人口ニナツテ居リマス、又東北本線及ビ磐越關係ノ東線西線ノ交通關係ハ、東北六縣ニ於テ汽車ノ往復七十何回ト云フ郡山「ステーション」ト云フモノハ、東北一ノ大「ステーション」デアリマス、ソレカラ「ステープル・ファイバー」ノ工場デアルトカ、其ノ他凡ユル近代的ノ工業ガ發達ヲ致シマシタ、只今ハ約十万ノ人口ニ近イ程度ニマデ、郡山市ノ市勢ト云フモノハ駿々乎トシテ發展向シテ居ルコトハ、商工省ニ於カレマシテモ御承知ノコトト思フノデアリマス、然ルニ御承知ノ如ク郡山ハ區裁判所デゴザイマシテ、當然地方裁判所ノ支部ヲ開設サレテ然ルベキ郡山市ノ情勢デゴザイマス、是ハ獨リ郡山市ダケデハナイ、其ノ郊外ニハ關係町村ト云フモノガ多數アルノデアリマス、而モ郡山市ハ福島縣ノ地理的關係カラ見マスルト、當然郡山區裁判所ニ支部ヲ設置スルト、全ク中央ニ位スル、成程福島市ニハ地方裁判所ガアリ、縣南ノ白河町ニハ支部等ガゴザイマスルガ、只今ノ現勢カラ考ヘマスルト、當然郡山區裁判所ニ支部ヲ設置スルコトガ妥當デアルト考ヘテ居リマスガ、是ハ關聯事項ト致シマシテ、参考ノ爲ニ御伺ヒ申上げタイト思フノデアリマスガ、是ハ關聯事項ト致シマシテ、此方デ分ラナイ所ハ現地ニ參リマシテ、此方デ分ラナイ所ハ現地ニ就テ調べタモノデアリマス、尙ホ其ノ期間本省カラハ書記官、事務官ガ現地ニ參リマシテ、此方デ分ラナイ所ハ現地ニ就テ調べタモノデアリマス、斯

ヤウニ町村ノ合併其ノ他ニ依ツテ、急激ニ人口ノ膨脹シタ都市ニ對シマシテハ、左様コトガ極メテ妥當デアルマイカト云フ私ノ質問ニ對シテ、ソレノ御答辯ガアツタノデアリマス、然ルニ私其ノ後國策會社ノ東北振興ニ實地研究旁、只今ノ郡山市ノ情勢ヲ見マスルト、郡山ガ市制ヲ施行サレテココ僅カ十年内外デアリマスガ、町制時代ハ人口二万八千ノモノガ今ヤ七、八万ノ人口ニナツテ居リマス、又東北本線及ビ磐越關係ノ東線西線ノ交通關係ハ、東北六縣ニ於テ汽車ノ往復七十何回ト云フ郡山「ステーション」ト云フモノハ、東北一ノ大「ステーション」デアリマス、ソレカラ「ステープル・ファイバー」ノ工場デアルトカ、其ノ他凡ユル近代的ノ工業ガ發達ヲ致シマシタ、只今ハ約十万ノ人口ニ近イ程度ニマデ、郡山市ノ市勢ト云フモノハ駿々乎トシテ發展向シテ居ルコトハ、商工省ニ於カレマシテモ御承知ノコトト思フノデアリマス、然ルニ御承知ノ如ク郡山ハ區裁判所デゴザイマシテ、當然地方裁判所ノ支部ヲ開設サレテ然ルベキ郡山市ノ情勢デゴザイマス、是ハ獨リ郡山市ダケデハナイ、其ノ郊外ニハ關係町村ト云フモノガ多數アルノデアリマス、而モ郡山市ハ福島縣ノ地理的關係カラ見マスルト、當然郡山區裁判所ニ支部ヲ設置スルト、全ク中央ニ位スル、成程福島市ニハ地方裁判所ガアリ、縣南ノ白河町ニハ支部等ガゴザイマスルガ、只今ノ現勢カラ考ヘマスルト、當然郡山區裁判所ニ支部ヲ設置スルコトガ妥當デアルト考ヘテ居リマスガ、是ハ關聯事項ト致シマシテ、参考ノ爲ニ御伺ヒ申上げタイト思フノデアリマスガ、是ハ關聯事項ト致シマシテ、此方デ分ラナイ所ハ現地ニ就テ調べタモノデアリマス、斯

是ハドウ云フ方ニ聞イタカ知ラヌガ、恐ラク大變ナコトダト思フノデアリマス、ソレカラ是ハ浦和ノ管内カラ越ケ谷ニ持ツテ來ル方デアリマスガ、幸手村ハ幸手ノ直グ北ニアルコトハ今申上ゲタ通リデアリシテ、幸手ニハ停車場ガアリマス、此ノ幸手ト云フ所ハ幸手村マデ直グ出ラレル所ニアリマシテ、幸手ノ停車場ニ來レバモウ越ケ谷ニ來ルノハ何デモナイ、幸手町ハ勿論ノコトデアリマス、是ハ和土ト云フ停車場ガアリマスノデ、和土カラ乗ツテ越ケ谷ニ参リマスト直チニ來ラレル所デアリマス、高野村モサウデアル、上高野ノ一部分ハ幸手ニ接シテ居リマスカラ、幸手カラ乗ツテモ宜イシ、和土カラ乗ツテモ宜イ、和土ト云フ停車場ハ須賀村ノ村内ニアリマスガ、和土ト云フ所自體ガモウ高野ダト言ツテ居ル所デアリマス、是ハ村ニ停車場ガアルト言フテモ宜イ、斯ウ云フ場所デアリマスカラ、是ダケハ少クモ越ケ谷ニ持ツテ來ル方ガ便利ナノデ、住民ガサウ云フ風ナ希望ダト云フノナラバ、是ハトンデモナイコトデアリマス、私ハ何カノ御間違ヒグラウト思フ、間違ヒデナイトスレバ、餘程土地ナドニハ構ハズ、自分勝手ナコトヲ言フタ人ダラウト思ヒマスガ、變ヘルニハ斯ウ云フヤウナ案ガ出タバカリデスカラ極メテ宜イノダラウト思ヒマスガ、私ノ言フコトガ間違ヒナラバ私ハドノヤウナ責任デモ負ヒマス、斷ジテ私ノ間違ヒデナイト云フコトヲ私ハ自分で保證致シマス、是ハ變ヘルコトガ出來レバ變ヘテヤツタ方ガ、兩方ノ人達ノ爲ニ便利ダト思ツテ居リマス

○中島政府委員 先刻其ノ土地ノ人ガ希望シナカツタト申上ゲタノハ、主トシテ幸手

町ノ方面ノコトデアリマシテ、黒濱村ノコトデハアリマセヌ、此ノ方面ノ町村長ノ人ニ皆集マツテ貰ツテ、其處デ意向ヲ確メタコトデアリマス、唯黒濱村ニ關スル限りハ、今マデ餘リ問題ガ起ラナカツタ爲ニ、調査ガマダ十分出來テ居リマセヌ、成程御話ノ通りニ、或ハ此ノ方面ハ管轄ヲ變更スルコトニ依ツテ非常ニ土地ニ便宜ヲ與ヘルカモ知レナイト云フ氣ハ致シマスカラ、其ノ點ハ將來十分研究ヲ續ケテ行キタイト思ヒマス

○古島委員 折角出テ居ルノデスカラ、將來ノコトデナク、茲デ變ヘタラドウデスカ、變ヘラレルノデハナidesカ、是ハ私ノ希望デスガ、將來同ジヤウナ是ダケノ改正案ヲ出スト云フコトモ面白クナイコトデハアリマセヌカ、實際變ヘレバ變ヘラレルノデスカラ、變ヘタ方ガ宜イト思フノデス、所

デ幸手町方面デ假ニ管轄ヲ變ヘルコトヲ面白クナイト言フノハ、是ハ餘リ細カイコト

ダカラ申上ゲタクナインデスガ、裁判所ノ人デモ誰デモ、先づ取敢ズ行ツテ聞イテ見

ルノハ役場デス、役場ニ行ツテ聞イテ見マ

スト役場ハ先づ變ヘナ方ガ宜イト言フ、ソレハドウ云フ譯カト云フト、ココガ餘り

リ日當ヲ取ルノデス、是ハ隨分アルノデス、私ノ知ツテ居ル範圍デモ、或ル場所ノ人達

ハ、自分ノ訴訟デ行ク度ニ役場カラ出張旅費ヲ取ツテ行ツテ居ル、幸手町ニ停車場ガ

アツテ直グト越ケ谷ニ來ラレル人ガ、幸手カラ久喜マデ自動車ニ乗ツテ、久喜カラ浦

和マデ汽車ヘ乗ツテ來ルノデス、久喜カラ浦和マデ來ル爲ニハ、久喜カラ大宮ママデハ

汽車ニ乗リマス、大宮デ電車ニ乘換ヘテ浦和ニ來ルノデス、自動車ニ乗リ、汽車ニ乘

リ、電車ニ乗ツテ來ル、自動車貨ト汽車貨

ト

デハアリマセヌ、此ノ方面ノ町村長ノ人

ニコトデアリマス、唯黒濱村ニ關スル限りハ、

コト

ト

ニコト

ト

ト

ト

ト

ト

ト

ト

ト

ト

ト

ト

ト

ト

ト

ト

ト

ト

ト

ト

ト

ト

ト

ト

ト

ト

ト

ト

ト

ト

ト

ト

ト

ト

ト

ト

ト

ト

ト

ト

ト

ト

ト

ト

ト

ト

ト

ト

ト

ト

ト

ト

ト

ト

ト

ト

ト

ト

ト

ト

ト

ト

ト

ト

ト

ト

ト

ト

ト

ト

ト

ト

ト

ト

ト

ト

ト

ト

ト

ト

ト

ト

ト

ト

ト

ト

ト

ト

ト

ト

ト

ト

ト

ト

ト

ト

ト

ト

ト

ト

ト

ト

ト

ト

ト

ト

ト

ト

ト

ト

ト

ト

ト

ト

ト

ト

ト

ト

ト

ト

ト

ト

ト

ト

ト

ト

ト

ト

ト

ト

ト

ト

ト

ト

ト

ト

ト

ト

ト

ト

ト

ト

ト

ト

ト

ト

ト

ト

ト

ト

ト

ト

ト

ト

ト

ト

ト

ト

ト

ト

ト

ト

ト

ト

ト

ト

ト

ト

ト

ト

ト

ト

ト

ト

ト

ト

ト

ト

ト

ト

ト

ト

ト

ト

ト

ト

ト

ト

ト

ト

ト

ト

ト

ト

ト

ト

ト

ト

ト

ト

ト

ト

ト

ト

ト

ト

ト

ト

ト

ト

ト

ト

ト

ト

ト

ト

ト

ト

ト

ト

ト

ト

ト

ト

ト

ト

ト

ト

ト

ト

ト

ト

ト

ト

ト

ト

ト

ト

ト

ト

ト

ト

ト

ト

ト

ト

ト

ト

ト

ト

ト

ト

ト

ト

ト

ト

ト

方面カラ聽イタコト、必ズシモ一致シマセ
ス、其ノ間ニ處シテ吾々ガ現在廳ト豫定廳ト
ノ間ニ、ドレダケ交通ニ時間ガ掛ルカ、旅費方
ドレダケ掛ルカ經濟關係ガドンナ關係ニナ
ツテ居ルカ、警察、登記所ノ關係ガドウナ
ツテ居ルカト云フコトヲ調査致シマシテ、
ソレデ決定シテ居ルノデアリマシテ、右カ
ラ左ヘト云フ工合ニ決心スル譯ニハチヨツ
ト參リ兼ネルモノデアリマスカラ、今問題
トナツテ居リマスル御話ノ箇所ニ付テハ十
分考慮致シマシテ、モウ少シ研究ヲサセテ
戴キタイト思ヒマス、尙ホ專屬ノ判事ヲ置
ケナイモノニアラウカト云フ御意見デアリ
マスガ、其ノ點ニ付テハ是亦色々ノ要望モ
アリマスシ、吾々ニ於テモ各地ノ事件數其
ノ他ヲ始終調査致シテ居リマスカラ、サウ
云フ箇所ニ付テハ十分考慮致シマシテ、必
要ナル配置人員ノコトハ十分考ヘテ行キタ
イト思ヒマス、吾々ハ十分考ヘテ居ル積リ
デアリマスケレドモ、一番能ク御存ジナノ
ハ土地ノ方々、殊ニ在野法曹ノ方デアリマ
スカラ、サウ云フ方ノ御意見ヲ始終聽カシ
テ戴キタイモノダト考ヘテ居リマス

實際カラ言ヘバ司法畠ノ人ハ餘リ正直過ギル、他ノ方ハ不正確ダト云フ意味デハアリマセヌガ、他デハ餘計取ツテ置イテ相當ナコトヲヤル所ガナイトハ、私ハ申上ゲラレナイト思フ、隨分賞與ナドヲ出し過ギテ、此ノ前モ議論ガ起ツタ役所モアルガ、司法省デハ餘リ去年切詰メテ居ルカラ今年行詰マル今年行詰マルカラ明年行詰マルノデアル、苟クモ裁判所ガアツタラ其處ニ判事ヲ置クノガ原則デアル、若シ居ナケレバ缺員デスカラ、缺員ヲ補充スルト云フ爲ニハ豫算ヲ十分取ツテ置クノガ宜イト思フ、ソレハ勇敢ニ取ツテ一向差支ヘナイノデアリマス、曾テナイノダカラ、ココハ取ツテ置イタラ豫算ガ増スカラ、ソレハ遠慮シナケレバナラヌト言フ、是ハ國家ノ爲ニ洵ニ結構デアリマスガ、人民自身ノ方カラ言フト全ク不便ナンデス、司法省ハモウ少シ勇敢ニ豫算ヲ取ラナケレバナラヌ、判事ノ居ナイ場所ガ二十何箇區裁判所、檢事ノミ居ナイ所ガ何ボアルト云フコトデ表ヲ出サレタコトガアリマス、二十何箇區裁判所ト云フヤウニ餘計アルナラバ、ソレヲ補充スレバ宜イデヤナイデスカ、何年經ツテモ補充シナイ、而モ調停法ガ出來タカラ、調停法ノ爲ニハ十七人殖ヤストカ何人殖ヤスト言フ、ソレハ殖ヤシタカモ分ラヌガ、此ノ區裁判所ニ調停ヲ開カレル、折角殖ヤシタ所デ、或ル場所ニハ殖ヤシテモ、居ナイ所ニハ依然トシテ是ガ居ナイト云フコトデハ、殖シタ效果ハアルマイト思フ、先づ以テ專屬判事ノ居ルノガ原則デアル、居ナイト云フ所ハ之ヲ補充シ、尙ホ人事調停ノヤウナ、アア云フヤカマシイ手數ヲ煩ハス法律ガ廻ツテ來カラバ、ソレハソレデ餘計出スト云フコトニシナケレバナラヌト思フ、今後モアルコ

トデスガ、モウ少シ勇敢ニ取ツテ戴キタイ
ト思フ、役所ニ致シマシテモ、裁判所ノ建
物ハ何處モ彼處モ餘り結構デハアリセヌ、
他ノ建物ハドンヽ良クナルガ裁判所ノ建
物ダケハミスボラシイ建物ガ何處デモ多イ、
是等モ何トカヤツテ貴ハナケレバナラヌト
思フ、ソレト云ノノハ、是ダケノモノガア
ルト云フケレドモ、控訴院長ガ管内ヲ視察
ニ來レバ先づ其處ノ地方裁判所ニ言ツテヤ
ツテ吳レマス言ツテヤルノハ宜イ、地方裁判
所長ハ又管内ノ區裁判所ヲ視察スル、監督
判事ハ又他ヲ廻ル、斯ウ云フコトデアリマ
スガ、アレモ豫メ向フニ通告方行クノデア
リマス、明日ハ御巡視ガアルノダト云フコ
トデ皆整理シテ置ク、其處へ來ルノダカラ
何モ見付カリハシナイ、帳簿等ハ成程整理
シテシマヘバ、其ノ時々段々固クナルカラ
宜シウゴザイマスガ、何モ控訴院長ガ來ル
カラト云ツテ裁判所ノ門ノ所ニ宜イ加減ノ
コトヲシテ、其處ノ門ガ壊レタリ板屏ノ壊
レタノヲ隠シテ置ク必要ガナイ、控訴院長
ニ見テ貰ツテ何トカシタ方ガ宜イ、サウ云
フコトヲ隠シ立テオズルカラ、コチラヘ報
告スルノハ、アスコノ裁判所ハ整顿シテ居
ルト言フ、書類ノ整理ハソレデ宜イガ、建
物マデボロニナツテ居ルノニ平氣ダ、是ハ
實際ヲ見テ貰フコトガ大切ダ、判事等ノ居
ナイ所ハ早急ニヤラスト、イザ事件ガ起ル
ト云フコトニナツタラ大變デヤアリマセヌ
カ、事變關係ハ遠慮ナクヤレト云フコトデ
アリマスガ、何處ノ裁判所デモ雇等ハ軍需
關係ガ盛シダト云フノデ其處へ行ツテシマ
フ、補充ガ出來ナイ、書記サンガ出征シテ
シマツテモ中々補充ガ出來ナイ、監督判事
ヲ集メテアナタ方ガ御意見ヲ聞ケバ直グ分
ルノデアリマスガ、何處ノ裁判所デモ區裁判

判所デ二人ヤ三人缺員ノナイ所ハアリマセヌ、斯ウ云フ狀況デアリマスカラ、判事ヲ補充スルト共ニヤハリ斯ウ云フヤウナ缺員ヲ補充スル途ヲ開クコトデス、斯ウ云フヤウナ缺員ヲ補充スル途ヲ開クトハ何デアルカト云フト、今カラ雇ヲ何年ヤツテ居ツタラ判任官ニシテヤルト云フ途ヲ講ジナケレバ、誰ガ裁判所ニ行ツテ雇ヲ長クシテ居リマスカ、十年十五年居リマシテモ——十五年位經ツタラドウカ知レマセヌガ、十五年位居ツテモ三十五圓カラ四十圓、歷トシタ中學ヲ卒業シタ者ガ三十五圓デハ勤メ手ヘナクナリマス、是ハ氣ノ毒デアリマス、一遍御覽ヲ願ヒタイノハ、大政翼賛會之俸給ガ平均額百四十六圓デス、斯ウ云フ莫大ナ俸給ヲ片方デヘ取テ居ル連中ガアルノニ、裁判所デハ朝カラ晩マデ働イテ、暮ナドハ夜ニナツテモヤツテ居ル、而モ氣ノ毒ニ思ツテ薦麥デモ食ベテ吳レンカト寄附ヲスル者ガアツタラ、斷然監督書記ハ取レスト云ツテヤツテ居ル、然ルニ給仕カラ小使ニ至ルマデ平均シテ大政翼賛會ハ百四十六圓、裁判所ナドハ判任官カラ給仕マデ平均シタラ幾ラニナリマスカ、恐ラク二十圓位ニナツテシマフ、コシナコトデハ一生懸命ニナレマセヌカラ、ヤハリ腰掛ニ來テ判檢事ノ試験ヲ受ケル、或ハ辯護士ノ試験ヲ受ケル、腰掛ニ來テ試験ヲ受ケルト云フ者以外ソンナ所ニ居リマセヌ、之ヲ大改革シテヤルト云フ考ヘガアルカドウカ、質問ノ意味デハアリマセヌガ、云フコトデ申上ゲルノデ、之ヲドウカ仕様ト云フ積リデ骨ヲ折ツテ居ルカ、折ツテ居ルカト云フコトヲ承レバ尙ホ結構デアリカト云フコト云フコトヲ承レバ尙ホ結構デアリ

マス

○中島政府委員 判検事ノ配置員數、是ガ適當ヲ得テ居ルカドウカト云フコトハ、事件ノ數其ノ他ニ付テ絶エズ注意ヲシテ居ル

トカ、或へ無配置廳ヲ作ルトカ云フヤウナコトハ、基本事件數ト云フモノガアリマシテ、ソレヲ標準トシテ決メテ行クノデアリマスガ、其ノ理窟通リニモ參ラナイ箇所ガアリマシテ、是モ難カシイ問題デアリマス、何分本省ニ居リマス者ハ判檢事上リナモノデアリマスカラ、兎角理論的ニナルト云フ傾向ハ免力レナイデ、或ハアナタ方カラ御覽ニナルト、少シ腰ガ弱イヤウニ御覽ニナルカモ知レマセヌガ、腰ガ弱イト云フヨリモ理窟ノ上ニ一寸負ケルノデ、理窟ニ合ハナイコトヲ押スト云フコトガ一寸ヤリ得ナイ所ガアルノデ、ソレガ弱ク見エルノデヤナイカト思ヒマス、併シ此ノ點モ十分考ヘテ参リマシテ、事ノ緩急ヲ考ヘ、必要トスベキモノハ十分豫算モ戴クヤウニ努力シテ行キタイト思ヒマス、尙ホ營繕ノコトニ付テモ色々々御同情ノアル御意見ヲ拜聽致シマシテ有難ク感謝致シマス、此ノコトニ付テモ御話ノ通リニ實ニヒトイ破損ヲシテ見ルニキコデ此ノ頃ハ出張シタ者ガ餘リヒドイ所忍ビナイヤウナ箇所ガ實際アルノデアリマス、是ハ色々々會計ノ方カラ大藏省ニ對シテ懇ヘルノデアリマスガ、中々是ガ通ラナイ、テ吳レト言ツテモ見テ吳レマセヌカラ、寫眞ニ依ツテ懇ヘル、是ハ相當效果ガアリマシテ、ソレニ依ツテ考ヘ直シテ貰ツタ所ナドモ若干アリマス、何分資材ノ不足ニ依ツテ右カラ左ニト云フ譯ニハ参リマセヌガ、理

十一

○佐藤政府委員 大正十二年法律第五十二號ノ改正案デアリマスガ、是ハ御承知ノ通り既ニ三回モ期間ノ延長ガアリマシテ、毎回五年ヅツ延長ノ案デアツタノデアリマスガ、第一回、第二回ハ五年延長ニナリマシタガ、第三回ニハソレハ修正ニナリマシテ、四年延長ト云フコトニナツテ現在ニ至ツテ居ルノデアリマス、御承知ノ通り此ノ受験者ト云フノハ、大正十二年以來非常ニ勉強サレマシテ屢々受験サレテ居ルガ、不幸ニシテマダ合格サレナイ人ガ大分アルヤウニ思ハレルノデアリマス、ソコデ更ニ延長シテ吳レト云フ趣旨ノ法律案ト思ヒマスガ、情議ガアリマシテ、是ハモウ最後デアル、是ドモ、第三回ノ改正ヲヤリマシタ時ニ於キ五年ノ延長ノ案ヲ四年ニ修正シタト云フ關係モアリマスシ、又其ノ案ガ樞密院ニ行キマシテ、政府ガ説明シタ際ニ於キマシテモ、

8

○坂野政府委員 大正十二年ノ出願者數ガ千八百八十九名デアリマス、其ノ後合格シテ居リマス者ガ大正十二年ニ百六十二名、以下ズツトアリマシテ、結局合格總數ガ大正十五年マデデキ三十九名アルノデアリマシテ、結局大正十二年ノ出願者數千八百八十九名ノ中カラ千三十九名ヲ引キマスト八百五十名残ツテ居ル、斯ウ云フコトニナルノデゴザイマス、所ガ此ノ中ニハ相當年齢ノ高イ人モアリマスシ、亡クナツタ人モ入ツテ居ルノダラウト思フノデアリマス、最近ノ四年間ノ出願者數ヲ見マスト昭和十二年ガ二百二十三名、十三年ガ百二十五名、十四年ガ百十三名、十五年ガ百二十三名、斯ウ云フヤウニナツテ居リマシテ、出願者ノ數ガ百二十名前後ト云フ所デアリマス、合格者ハドウ云フヤウニナツテ居ルカト申シマスト、昭和十二年ガ十一名、同十三年モ十一名、十四年ガ四名、十五年ガ五名、斯ウ云フヤウナ狀況ニナツテ居リマスノデ、段々質モ劣ツテ來テ居ルヤウニ考ヘラレルノデアリマス

ア テ

テ之ニ同意シ難イト云フヤウナ意味ナノアリマスカ、又實際上殆ド其ノ必要ガナイノダ、今御舉ゲニナツタ最後ノ數字ハ百二十何名ト云フコトデスガ、私共聞及ンデ居ル所デハ毎年々々繼續シテ居ラズニ、或ハ都合ニ依ツテ一年抜イタリ三年置キニ受験ヲシタリ、各々皆生活ヲ抱ヘナガラヤツテ居ル者ガ多イノデアリマスカラ、色々ナ事情デ年々繼續シテヤツテ居ル者バカリデハナ、イヤウデアリマス、隨テ今ヤハリ之ヲ目指シテ努力ヲシテ居ル者ハ三百名程度アルヤウニ承知致シテ居ルノデアリマスガ、假ニ百二十何名アリマシテモ、ソレ等ガ繼續シテ努力ヲシテ居ル、隨テ又試験ハ先程申シタ通り何モオ情ケニ依ツテ合格サセテ吳レト云フノデハナクテ、實力ガ認ヌラレバ之ヲ合格セシムルト云フノデアリマスカ、何モ弊害ハ起ラヌヤウニ思フノデス、之ヲ阻止スル方ガ却テ害ガ生ジテ來ルノデハナイカ、ソレモ國家ノ大局カラ見レバ大シタモノデハナイト御認定ニナルカ知リマセヌケレドモ、今マデ何回モ延バシタノダカラ、其ノ間ニ大體受験者ハ承知シテ居ルコトダラウト考ヘラレルカ知レマセヌケレドモ、兎モ角現ニソレダケノ者ガ尙ホ居ルノデアリマシテ、從來モ能ク例ニ引カレル

三

リマスカ、又實際上殆ド其ノ必要ガナイ
タ、今御舉ゲニナツタ最後ノ數字ハ百二
合ニ依ツテ一年抜イタリ三年置キニ受驗
シタリ、各、皆生活ヲ抱ヘナガラヤツテ居
者ガ多イノデアリマスカラ、色々ナ事情
年々繼續シテヤツテ居ル者バカリデハナ
ヤウデアリマス、隨テ今ヤハリ之ヲ目指
テ努力ヲシテ居ル者ハ三百名程度アルヤ
ニ承知致シテ居ルノデアリマスガ、假ニ
二十何名アリマシテモ、ソレ等ガ繼續シ
テ合格セシムルト云フノデアリマスカ
何モ弊害ハ起ラヌヤウニ思フノデス、之
云フノデハナクテ、實力ガ認メラレレバ
ヲ合格セシムルト云フノデアリマスカ
タラウト考ヘラレルカ知レマセヌケレド
ケレドモ、今マデ何回モ延バシタノダカ
其ノ間ニ大體受驗者ハ承知シテ居ルコ
アリマシテ、從來モ能ク例ニ引カレル

ス 同

スカ、又實際上殆ド其ノ必要ガナイ
今御舉ゲニナツタ最後ノ數字ハ百二
ト云フコトデスガ、私共聞及ンデ居
ハ毎年々々繼續シテ居ラズニ、或ハ
依ツテ一年抜イタリ三年置キニ受驗
リ、各々皆生活ヲ抱ヘナガラヤツテ居
多イノデアリマスカラ、色々ナ事情
繼續シテヤツテ居ル者バカリデハナ、
デアリマス、隨テ今ヤハリ之ヲ目指
力ラシテ居ル者ハ三百名程度アルヤ
知致シテ居ルノデアリマスガ、假ニ
何名アリマシテモ、ソレ等ガ繼續シ
ヲシテ居ル、隨テ又試験ハ先程申シ
何モオ情ケニ依ツテ合格サセテ異レ
ノデハナクテ、實力ガ認メラレベ
格セシムルト云フノデアリマスカ
セ弊害ハ起ラヌヤウニ思フノデス、之
スル方ガ却テ害ガ生ジテ來ルノデハ
、ソレモ國家ノ大局カラ見レバ大シ
デハナイト御認定ニナルカ知リマセ
ドモ、今マデ何回モ延バシタノダカ
ノ間ニ大體受驗者ハ承知シテ居ルコ
ウト考ヘラレルカ知レマセヌケレド
モ角現ニソレダケノ者ガ尙ホ居ルノ
マシテ、從來モ能ク例ニ引カレル

卷之三

難
文

又實際上殆ド其ノ必要ガナイ
ケニナツタ最後ノ數字ハ百二
コトデスガ、私共聞及シデ居
々々繼續シテ居ラズニ、或ハ
一年抜イタリ三年置キニ受驗
皆生活ヲ抱ヘナガラヤツテ居
アアリマスカラ、色々ナ事情
アヤツテ居ル者バカリデハナ、
マス、隨テ今ヤハリ之ヲ目指
テ居ル者ハ三百名程度アルヤ
ア居ルノデアリマスガ、假ニ
リマシテモ、ソレ等ガ繼續シ
居ル、隨テ又試験ハ先程申シ
情ケニ依ツテ合格サセテ吳レ
ナクテ、實力ガ認ミラレレバ
カ却テ害ガ生ジテ來ルノデハ
モ國家ノ大局カラ見レバ大シ
起ラヌヤウニ思フノデス、之
ニソレダケノ者ガ尙ホ居ルノ
大體受験者ハ承知シテ居ルコ
ヘラレルカ知レマセヌケレド
イト御認定ニナルカ知リマセ
ニマデ何回モ延バシタノダカ
、從來モ能ク例ニ引カレル

際
卜

ト云アヤウナ意味ナノデ
實際上殆ド其ノ必要ガナイ
ナツタ最後ノ數字ハ百二
デスガ、私共聞及ンデ居
繼續シテ居ラズニ、或ハ
抜イタリ三年置キニ受験
活ヲ抱ヘナガラヤツテ居
リマスカラ、色々ナ事情
ツテ居ル者バカリデハナ、
、隨テ今ヤハリ之ヲ目指
ル者ハ三百名程度アルヤ
ルノデアリマスガ、假ニ
シテモ、ソレ等ガ繼續シ
、隨テ又試験ハ先程申シ
ニ依ツテ合格サセテ吳レ
テ、實力ガ認メラレベ
ト云フノデアリマスカ
ノスヤウニ思フノデス、之
テ害ガ生ジテ來ルノデハ
受験者ハ承知シテ居ルコ
レルカ知レマセヌケレド
御認定ニナルカ知リマセ
デ何回モ延バシタノダカ
レダケノ者ガ尙ホ居ルノ
來モ能ク例ニ引カレル

七
八

「アヤウナ意味ナノデ
タ最後ノ數字ハ百二
ガ、私共聞及シテ居
積シテ居ラズニ、或ハ
タリ三年置キニ受驗
抱ヘナガラヤツテ居
スカラ、色々ナ事情
居ル者バカリデハナ、
抱體テ今ヤハリ之ヲ目指
右ハ三百名程度アルヤ
デアリマスガ、假ニ
モ、ソレ等ガ繼續シ
處テ又試験ハ先程申シ
云フノデアリマスカ
ヤウニ思フノデス、之
實力ガ認メラレレバ
云フノデアリマスカ
認定ニナルカ知リマセ
因モ延バシタノダカ
者ハ承知シテ居ルコ
カ知レマセヌケレド
ケノ者ガ尙ホ居ルノ
モ能ク例ニ引カレル

下
廿

ト其ノ必要ガナイ
最後ノ數字ハ百二
私共聞及シデ居
ア居ラズニ、或ハ
リ三年置キニ受驗
ヘナガラヤツテ居
カラ、色々ナ事情
ル者バカリデハナ、
今ヤハリ之ヲ目指
三百名程度アルヤ
アリマスガ、假ニ
ソレ等ガ繼續シ
又試験ハ先程申シ
テ合格サセテ吳レ
力ガ認メラレレバ
ノデアリマスカ
ニ思フノデス、之
生ジテ來ルノデハ
局カラ見レバ大シ
ニナルカ知リマセ
モ延バシタノダカ
ハ承知シテ居ルコ
知レマセヌケレド
ノ者ガ尙ホ居ルノ
ク例ニ引カレル

卷之三

ノ必要ガナイ
ノ數字八百二
ナ意味ナハ
共聞及シデ居
ラズニ、或ハ
年置キニ受験
ガラヤツテ居
、色々ナ事情
バカリデハナ
ハリ之ヲ目指
名程度アルヤ
マスガ、假ニ
レ等ガ繼續シ
驗ハ先程申シ
格サセテ吳レ
認メラレレバ
ノアリマスカ
心フノデス、之
テ來ルノデハ
ラ見レバ大シ
ルカ知リマセ
バシタノダカ
知シテ居ルコ
マセヌケレド
ガ尙ホ居ルノ
例ニ引カレル

意味

要ガナイ
学ハ百二
品シンデ居
ニ、或ハ
居宣キニ受驗
ヤツテ居
度アルヤ
「」々ナ事情
ハリデハナ
之ヲ目指
度アルヤ
ガ、假ニ
守ガ繼續シ
先程申シ
セテ吳レ
ラレレバ
リマスカ
ノデス、之
ルノデハ
レバ大シ
知リマセ
タノダカ
テ居ルコ
スケレド
ホ居ルノ
引カレル

九
十

カナイハ百二シデ居或ハノテ受験ノフ目指ア事情ナハナ、ノテ居ノルヤ假ニ申シ佳績シ、ノレバスカノデハス、之ノダカラ大シリマセ居ルコケレド居ルノカレル

イテ

二居ハ精神指揮ニシテ之バレシシニヤ居ニテノドヨカセシハカノトル

コトデアリマスガ、醫者ノ資格試験ナドハ、最後ノ一人マデ之ヲ救濟シタト云フ例ガアルノデアリマス、尤モ他ニハ或ハモウ途中打切ツテシマツテ、ソレヲ顧ミナカツタト云フ例ガアルカモ知レマセヌガ、兎モ角斯ウ云フ場合ハ他ノ場合トハ吾々違フト思フノデアリマシテ、學歴ガナイカラ之ヲ阻止シテシマフノダト云フコトヲ、果シテ國家ノ上カラ見テ是認シテ宜イノデアルカ、ドウモ官學萬能トカ、或ハ學問ノミヲ尊重シテ、所謂人物本位ト云フコトヲ見ナイヤウナ弊ガ相當ニアルノデアリマシテ、私ハ一片ノ學歴ト云フモノニミコダハルコトハ妥當デナイトモ考ヘルノデアリマス、學問ハ大イニ尊重致シマスケレドモ、是ガ官學デアルトカ、或ハ私學デアルトカ、獨學デアルトカ云フコトニ依ツテサウ差別シテ國家ガ待遇スルコトハイケナイト私ハ思フノデアリマス、國家ノ厄介ニナラズシテ學ヲ積ミ、サウシテ國家有用ノ材ニナル者程之ヲ歎待シ、優遇スベキモノダト私ハ思フノデアリマス、ソレニモ拘ラズドウモノノ現在ノ狀態ハ全ク逆デ、親ノ脛ヲ嚼リ國家ノ御世話ニナツテ、樂ニ大學ヲ出タ者ガ重用セラレテ、其ノ他ノ者ハ皆虐ゲラレル、官僚萬能ノ弊風ト云フコトハ私ハ甚ダ好マシクナイコトダト思フ、サウ云フ苦學力行シ、獨學デヤルヤウナ者ハ質ガ劣ツタト仰シャルケレドモ、今日ハ學問バカリデモノハ中々容易ナラヌ試験ニハ相違ナイノデアリマスガ、過去ニ於テモ所謂獨學者ニシテ資格ヲ得デ、國家有用ノ材ニナツタ者ハ

相當多數アルノデアリマス、ドウ云フ譯デ
一體貴族院ガ反対シ、樞密院ガ之ニ反対ス
ルカ了解出來ナイ、恐ラク政府ハサウ云フ
點ニ付テノ真相ヲ能ク御承知デアラウカラ、
本當ニ是ガ認メラレナイト云フ所ノ根本理
由ヲ御伺ヒ致シタイト思ヒマス

○佐藤政府委員 只今ノ御話デアリマスガ、
御承知ノ通リ判檢事、辯護士ト云フモノハ
司法科試験ト云フ原則的ノ制度ガアルノデア
リマス、殊ニ問題ニナツテ居ル辯護士ト云フモノ
ハ、其ノ職務ノ公共性ニ鑑ミマシテ、辯護士トシ
テ試験ヲ通ツテ民間デ働く以上ハ十分ナ素
養ノアル者デナケレバ實ハ困ル、サウ云フ
意味デ現在司法科試験ト云フ制度ガ出來テ
居ルノデアリマス、ソレニ對シマシテ大正十二年
ニ例外的ニ或ル者ニ付テハ司法科試験ヲ受ケ
ナイデ、コチラヲ受ケテモ宜イト云フコト
ニシテ居ルノデアツテ、何處マデモは例
外的ナ試験制度デアル、司法科試験ガ本來
ノモノデ原則的ナモノデアリ、コチラガ例外
的ナモノデアルト云フ建前ハ現在ニ於テモ
チツト變ラヌ、其ノ例外的ノ建前ヲ何時マ
デモ置イテオクト云フコトハ如何カト思フ、
斯ウ云フ點ニナルノデゴザイマス、殊ニ先
程モ司法省ノ側カラ御説明ガアリマシタ通
リ、モウ受験者ノ數モ非常ニ減ツテ居ルシ、
又先程申シマシタ通り、貴族院等ニ於テモ
之ヲ延バスコトハイカスト云フヤウナ意見
ガ速記錄等ヲ見マスト相當ハツキリシテ居
ル、政府モ大體之ニ同意シテ居ルト云フ經
緯ガアリマシテ、結局原則的ナ試験制度ガ
アルノデアルカラ、例外的ナモノハ其ノ趣
旨ニ從ツテ成ベク早ク廢サウ、而モ受験者
ガマダ非常ニ澤山アルト云フ場合ニ於テハ、
或ハ已ムヲ得スト云フコトモ考ヘラレマ

スガ、數回ノ改正ニ依ツテ期間ガ延長サレ、其ノ結果實際恩典ニ依ツテ受驗者ハ極メテ少クナツテ居ルシ、大局カラ見テ今度ヨソ原則ダケデ、例外ハ廢スル方ガ適當ト考ヘルノデアリマス
○古島委員 一寸關聯事項デ伺ヒマス、手代木君カラノ提案デスカラ私モ大イニ贊成ヲシタイト思ヒマス、所ガ別ニ例外ヲ設ケモ試驗ヲヤル譯デハナイ、今ノ試驗ノ人達ノ中ニ混ツテヤルト云フダケデ、國家トシテハ別ニ手數ヲ煩ハスト云フ譯デハアリマセヌ、之ヲ延バサナイデ此ノ連中ヲ切捨テテ見タ所デ、ソレガ爲メ何等積極的利益ガアル譯デハナイ、但シ能ク考ヘテ見ルト、二十年モ延期シテ居ルノデアルカラ、三十分人ガ受ケ始メテモウ五十ニナツテ居リマス、相當ノ年輩ニナツテ居リマスガ、五十二ニナツタカラモウ止メロトハ實際ニ言ヘナイ、私共モ此ノ判檢事試驗ヲ受ケタ方デスガ、私共ノ本當ノ考ヘカラ言フナラバ、檢事試驗ニシテモ、辯護士試驗ニシテモ、精々三度、長クテ五年位受ケル資格ヲ與ヘテ、其ノ間ニ選リ抜イタ人間デナケレバ物ニアリスト思フ一人デアルガ、是カラ延バシテヤツテモ五十五ナツテ居ル、人生僅カ五十年ト云フ定命ノ來テ居ル連中ガ百名位残ツテ居ルト云フノナラバ、折角今マデ延バシテヤツタコトデモアルシ、アト十年モ受ケル譯デハナイ、其ノ時分ニハモウ冥土へ行ツテ居リマス、冥土へ行ク前ニ一遍資格ヲ取リタイ、兎ニ角自分モ是マデヤツテ役ニモ就カズ、何處ニモ儕給生活ヲセズニ一生イト思ヒマス、若シ之ヲ延バシテヤルト云

フナラバ、國家ハ豫算ノ上ナリ、或ハ手數ノ上ナリニ何カ損害デモアルノカ、若シ損害ガナインラバ延バンテヤルノガ一番宜イト思ヒマスガ、如何デアリマセウカ、ソレヲ承ツテ置キタイト思ヒマス
○佐藤政府委員 御話ノ點御尤モデ、情ニ於テハ氣ノ毒ナ點モ非常ニアルノデアリマス、殊ニ一回、二回、三回ト延バシテヤルガ、四回ハドウシティカヌカト云フ御話モアルノデ、實ハ非常ニ辛イ點モアルノデアリマス、併シナガラ試験ノ點ハ五十二號ノ試験ト司法科ノ試験ハ別ニヤツテ居リマス、隨テ大シタ金デハアリマセヌガ、別ニ豫算モ其ノ爲ニ取ツテ居リマス、サウ云フ關係モアリマスガ、結局三回延バシテ三回ハ宣イガ、四回ハドウシティカヌト云フコトニナリマスノデ、實ハ非常ニ辛イ點デアリマスガ、其ノ際殊ニ貴族院等ニ於ケル速記録ヲ見テモ、政府ハ非常ニ辛イ立場ニアリマス、是ガ最後ナル、今後ハ延バサスト云フヤウナ希望決議ヲ付ケラレテヤツタヤウナ事情モアリマスノデ、又今度モト云フコデハ實ハ非常ニ困ルノデアリマス、大體サウ云フ事情デアリマス
○手代木委員 貴族院ヤ樞密院ノ方ノ關係ハ、是ハ私ニハ能ク分ラヌデスケレドモ、政府ノ方モ恐ラク此ノ問題ニ對シテハ御話ノ通り例外ノモノダカラ、之ヲ輕ク扱フト云フコトガ先入主ニナツテ居ラレルノデ、隨テ貴族院ニ對シテモ樞密院ニ對シテモ、サウ云フ頭デ臨マレタ結果、或ハ希望決議ヲ附ケラレタリ、是ガ最後ダト云フヤウナ

言渡シヲ受ケタリナサツタコトデアラウト、思フノデアリマス、大變御同情ノアル言葉
ガ一面ニアルカト思フト、一面ニハサウ
云フ關係デ行カナイト斷然撥ネラレル處
ガアルノカ、此ノ前モ大分難色ガアツテ、五年
ヲ四年ニ詰メ、而シテ是ガ最後ダト云フヤ
ウナコトハ委員會デハ御話ヲ伺ツタノデハ
ナイノデ、兩院ヲ通過スレバ十分ニ考慮シ
マスト云フ御話デ、前回ハ委員會ヲ通過シ、

衆議院ヲ通ツテ居ルノデアリマス、サウ云
フヤウナ關係デアリマシテ、今古島君モ言
ハレタノデアリマスガ、私ハ之ニ依ツテ弊
害ヲ生ズルコトガナイ、大シタ煩ヒガナイ
ナラバ、御同情ノ言葉ガアル通り、本人共
ニ取ツテハ全ク死刑ノ宣告ノヤウナモノガ
相當アルノデアリマス、今日孫ト競争シテ
試験ヲ受ケテ居ルヤウナ者モ居ルノデアリ
マス、サウ云フ者ニナルト、全ク是デ命ヲ
斷タレルト同様ナノデ、孫ノ手前面目ガ立
タナイヤウナ者サヘモアリマス、大シタ煩ヒ
ガナイナラ、何トカ是ノ繼續ヲ御認メ下サ
ツテ、而モ提出理由ヲ説明致シマシタ時、
五年ガ長ケレバ之ヲ或ル程度短縮スルヤウ
ナコトヲシテデモ、出來ルダケ餘計救ツテ
行ク、又古島君ノ言ハレル通り、皆相當ノ
マセヌカラ、ドウゾ出來ルダケ一ツ十分御
考慮ヲ御願ヒ致シタイト思フノデアリマス
ケレドモ、是ハ別ニ御答辯ヲ得ル必要モアリ
對シテノ御考慮ヲオ願ヒ致シタインデアリ
年齢ニ達シテ居ルノデアリマスカラ、サウ
何时マデモ無限ニ續ク譯デモアリマセヌカ
ラ、特ニ政府トシテモ尙ホ一段ト此ノ案ニ
ス、明日ハ午前十時カラ開會致シマスルガ、

本日マデノ模様ヲ見マスルト、明日ノ午前
中ニハ只今ノ議案モ、前ニ質疑ヲ終リマシ
タ案件モ、何レモ討論採決ニ至ル空氣ノヤ
ウニ見受ケラルルノデアリマス、出來ルダ
ケ努メテ御勉強御出席ヲ願ヒタイト思ヒマ
ス、是デ散會致シマス

午後四時十三分散會

昭和十六年一月二十一日印刷

昭和十六年一月二十三日發行

衆議院事務局

印刷者 内閣印刷局